

平成28年度第1回みよし市地域福祉計画審議会 次第

日時：平成29年1月24日（火）

午後1時30分から

場所：市役所6階 601, 602会議室

1 あいさつ

2 議 題

第2期みよし市地域福祉計画進捗状況について

【資料2】

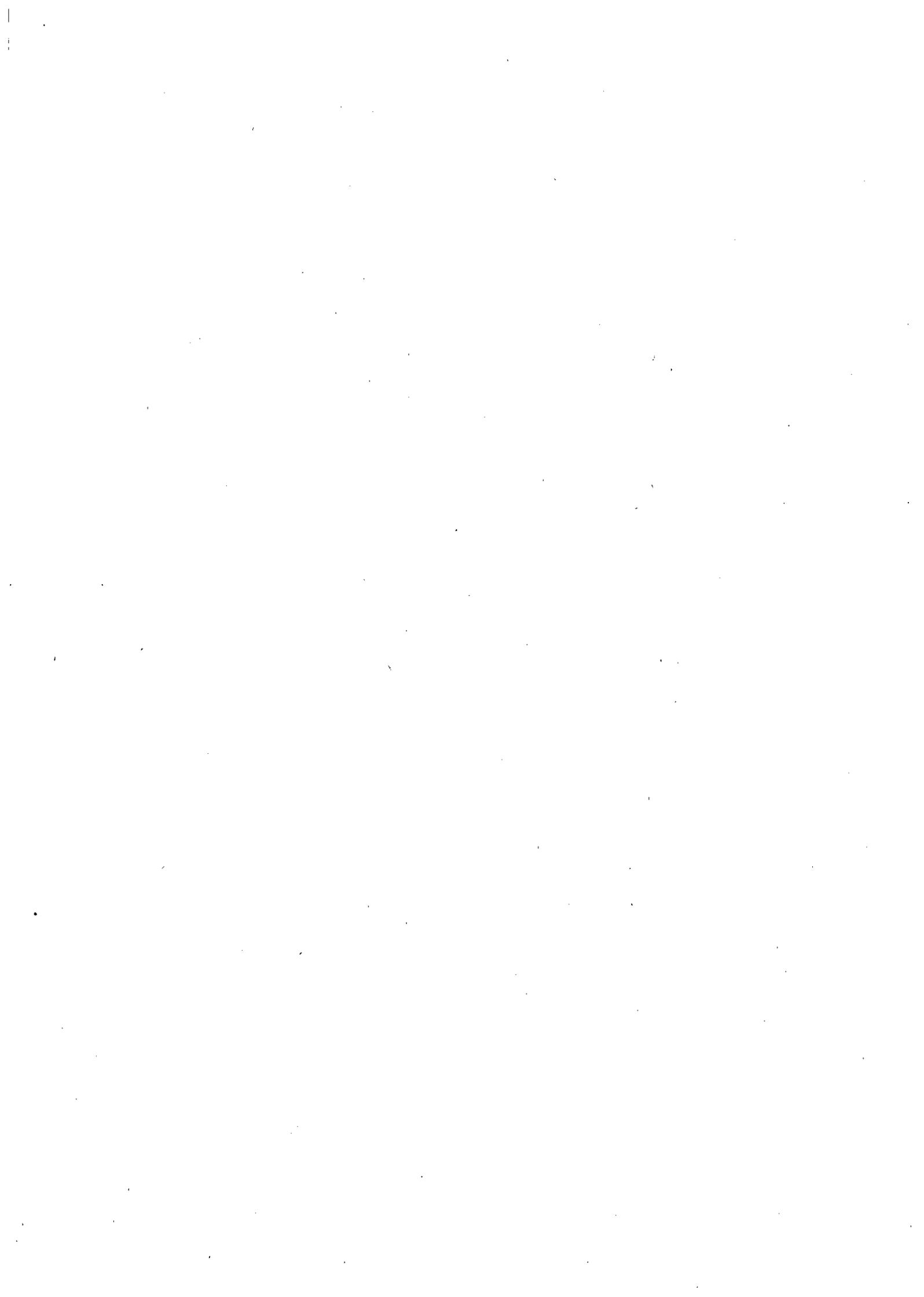
3 その他

みよし市地域福祉計画審議会委員名簿

資料No.1

役職	所属	職名	氏名	備考
会長	愛知大学	名誉教授	浅野 俊夫	市長が必要と認める者
副会長	民生児童委員協議会	副会長	野崎 又嗣	民生委員の代表者
委員	豊田加茂医師会 理事 まつおかこどもクリニック	院長	松岡 宏	医療関係者
委員	社会福祉法人昭徳会安立荘	荘長	古山 昇志	福祉団体の推薦する者
委員	社会福祉法人あさみどりの会	専務理事	高濱 潔	〃
委員	社会福祉法人あゆみ会	理事長	鈴木 睦子	〃
委員	社会福祉法人みよし市社会福祉協議会	事務局長	石原 正裕	〃
委員	みよし市身体障害者福祉協議会	会長	岡本 長治	〃
委員	みよし市老人クラブ連合会	副会長	永井 勝	〃
委員	みよし市ボランティア連絡協議会	会長	佐宗 正行	〃
委員	小中学校校長代表	北部小学校	野田 紀世子	教育関係者
委員	愛知県立三好特別支援学校	校長	高村 葉子	〃
委員	幼稚園・保育園代表	三好桃山幼稚園理事長	渡邊 祥子	〃
委員	公募委員		岩城 茂子	市民
委員	豊田加茂福祉相談センター	次長兼地域福祉課長	大井 千草	関係行政機関の職員
委員	衣浦東部保健所	健康支援課長	田口 良子	〃

任期：平成25年2月1日～平成29年1月31日



平成28年度実施（進捗確認5回目）

あったかプランみよし

第2期みよし市地域福祉計画進捗状況

（平成27年度事業）

みよし市

【目次】

基本方針 1 みんなで共に支え合う地域づくり

～住民の福祉意識の高揚～

- (1) 地域福祉に対する意識の啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
- (2) 学校・家庭・地域における福祉教育の推進・・・・・・・・・・ 2～4
- (3) 地域住民の交流活動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～7
- (4) 地域における支え合い活動の促進・・・・・・・・・・・・・・ 7～9

基本方針 2 地域でサービスを利用しやすい体制づくり

～広報・相談体制の充実～

- (1) ニーズの把握及び情報提供の充実・・・・・・・・・・・・・・ 9～10
- (2) 福祉に関する相談体制の整備・・・・・・・・・・・・・・ 10～11
- (3) 利用しやすいサービスの提供・・・・・・・・・・・・・・ 11～14

基本方針 3 地域で安全に安心して暮らせる環境づくり

～サービスの質の向上と拡充～

- (1) 健康づくり・生きがい活動の推進・・・・・・・・・・・・・・ 14～17
- (2) 安心して暮らせる日常生活の支援・・・・・・・・・・・・・・ 17～18
- (3) 誰もが働きやすい就業環境の整備・・・・・・・・・・・・・・ 19
- (4) 安全な居住・生活環境の整備・・・・・・・・・・・・・・ 20～22

基本方針 4 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり

～協働による福祉体制の整備～

- (1) 地域福祉を担う人材の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22～24
- (2) 地域における福祉ネットワークの形成・・・・・・・・・・ 24～26
- (3) 関係団体等との連携の強化・・・・・・・・・・・・・・ 27～28
- (4) ボランティア・NPOの活動促進・・・・・・・・・・・・・・ 28～30
- (5) 地域における活動場所の提供・・・・・・・・・・・・・・ 31～32

基本方針1. みんなで共に支え合う地域づくり ～住民の福祉意識の高揚～
(1)地域福祉に対する意識の啓発

No. 整理 番号	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
				番号	事務事業名	今後の事業 の方向性		成果の 方向性
1	地域福祉に関する 学習機会の提供	地域福祉に関する研修会、講習会、講座などを 開催して、住民の参加を促進します。	福祉課	550201 550705	民生児童委員活動事業 障がい者自立支援事業	現状維持 現状維持	→維持 →維持	・民生委員の各専門部会で、福祉施設の視察研修等を行い、地域福祉への 理解を深めた。 ・H28.2.14(土)、みよよし市役所において障がい者自立支援協議会主催の講演 会を開催。 【第1部】講演「生活困難者自立支援法の概要」 【第2部】講演「生活困難者支援、実践から見たもの…」 【第3部】実践報告「みよよし市の現状と今後に向けて」 来場者数：約90名 障がい者自立支援協議会の動向紹介、周知、啓発を行うことができた。
2	人権尊重意識の 啓発活動の推進	住民一人ひとりが人権を尊び、差別や偏見のな い明るい地域社会を実現させるために、地域イベ ントや人権週間などにおける街頭PR、小・中学校 の人権教育と連携したPR活動の一層の推進を 図ります。	市民課	740801	相談事業	現状維持	→維持	・総合福祉フェスタ(文化センターサート1回)と大型シヨビングセ ンター(2回)において、街頭啓発を開催 ・小学校(4校)及び保育園(4園)において、人権移動教室を開催 ・中学校(2校)において、人権教育講演会を開催 ・総合福祉フェスタにおいて、人権啓発映画会を開催
3	地域における 男女共同参画社会の 推進	みよよし男女共同参画プラン「パートナー」の計画 により、みよよし男女共同参画交流ネットへの登録 を促進するとともに、男女共同参画セミナーなど を開催し、男女共同参画社会の一層の推進を図 ります。	協働推進課	710301 710302 710303	女性の悩みごと相談事業 男女共同参画啓発事業 男女共同参画交流ネット事業	現状維持 統合 統合	→維持 ↑向上 ↓低下	・専門相談員による女性の悩みごと電話相談窓口を実施しました。 (電話相談日：毎週月曜日12:00～16:00) ・みよよし男女共同参画「市民のつとめ」を開催しました。 ・男女共同参画川柳の募集、選定及び表彰をしました。 ・男女共同参画ステツアアップセミナーを開催しました。 ・市内事業者向けに「男女共同参画講演会」を開催しました。 ・男女共同参画交流ネット登録団体(平成27年度登録団体：11団体)に 対し、年3回の情報交換会を実施しました。 ・男女共同参画交流ネット登録団体が主催する自主講座に対し補助を 行いました。
4	ポランティアに 対する意識啓発	ポランティアを身近に感じてもらうとともに、ポラン ティア活動への理解と参加意識を高めるため、ポ 広報やホームページなどでPRを行うとともに、ポ ランティアスクールや研修会などの各種講座を 開催し、住民の参加を促進します。	社会福祉協議会		企画・広報事業 (機関紙発行事業) ポランティアセンター活動事業 (ポランティアセンター活動事業)	現状維持 現状維持	→維持 →維持	【機関紙発行事業】 ・社協より発行(年6回) ・ホームページへの機関紙公開(適時) 【ポランティアセンター活動事業】 ・ポランティア通信発行(年4回) ・ポランティア登録者数(72団体、2774人) ・ポランティアコーナーイベント数(年346件) ・ポランティア講座(年3講座、28人)

整理 番号	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
				番号	事務事業名	今後の事業 の方向性	
5	⑤ 総合福祉フェスタへの参加推進	総合福祉フェスタへの住民の参加を促進し、本市の福祉に関する事業紹介や各種イベントを通じて、住民の福祉への理解と周知を図ります。	福祉課	550301	総合福祉フェスタ開催事業	現状維持 →維持	H27.9.19(土) サングラートにおいて総合福祉フェスタを開催。 【第1部】 社会福祉大会 【第2部】 総合福祉フェスタ 【第3部】 ふれあいコンサート 総来場者数 4,300人 各種団体の参加のもと、保健・医療・福祉・生きがい事業を一体化した総合福祉の充実と市民の意識の高揚を図ることができた。

基本方針1. みんなで共に支え合う地域づくり ～住民の福祉意識の高揚～
 (2)地域福祉に対する意識の啓発

6	① 学校における福祉教育の充実	福祉について正しい知識が得られるよう、人権教育、性教育、道徳教育などさまざまな視点から、子どもたちの実態に合った福祉教育を行います。実態に当たっては、指導内容や指導方法を工夫し、体験学習も取り入れ、充実を図っていきます。	学校教育課						<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の授業実践の実施 ・人権啓発講演会の実施 ・原簿に対する人権啓発活動(人権移動教室)の実施 ・認知症を正しく理解するための講座の実施
7	② 学校と地域の連携による体験活動の推進	「学校支援ボランティア制度」を活用し、学校のみならず体験活動に、地域住民がボランティアとして参加する機会をつくることにより、学校と地域の連携による福祉教育の促進を図ります。ボランティア、近隣の大学にも呼びかけ学生ボランティア事業を行います。	学校教育課	690122	小学校教育活動事業	現状維持 →維持	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の授業補助を行う地域住民の活用 ・小中学校の授業補助を行う学生ボランティアの活用 ・近隣大学への学生ボランティア募集の説明会の実施及び案内の配布 		
8	③ 子どもの自主的なボランティア活動の促進	ボランティア活動への参加を通して、互いに助け合う精神や他人を尊重し、思いやる心を育むために、学校、地域、関係機関が連携して、子どもがボランティア活動に参加しやすい環境づくりを進めます。	学校教育課	690122	小学校教育活動事業	現状維持 →維持	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉実践教室の実施 ・ユニセフなどの募金など、福祉に関わるボランティア活動を実施 ・地域のあいさつ運動、花いっぱい活動、清掃活動の実施 		

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業 の方向性		成果の 方向性
9	③	子どもの自主的なボランティア活動の促進	ボランティア活動への参加を通して、互いに助け合う精神や他人を尊重し、思いやる心を育むために、学校、地域、地域、関係機関が連携して、子どもがボランティア活動に参加しやすい環境づくりを進めます。	子育て支援課	700101 700109	子ども会活動費補助事業 青少年団体活動育成事業	現状維持 現状維持	→維持 →維持	みよし市ジュニアリーダークラブ、みよし市スカウト活動育成連絡協議会に活動費の一部を補助することにより、青少年の健全育成のためのリーダー養成及び健全育成の促進を図った。
10	③	子どもの自主的なボランティア活動の促進	ボランティア活動への参加を通して、互いに助け合う精神や他人を尊重し、思いやる心を育むために、学校、地域、関係機関が連携して、子どもがボランティア活動に参加しやすい環境づくりを進めます。	社会福祉協議会		地域福祉活動推進事業 (福祉教育推進事業)	現状維持	→維持	【福祉教育推進事業】 ・活動費の助成(8小学校、4中学校、1高等学校)合計570千円 ・福祉実践教室の開催(点字、盲導犬、手話、要約筆記、盲イ、高齢者疑似体験、知的障がい者理解、認知症理解)、特別支援学校との交流、三世代交流、認知症・障がい理解活動、赤い羽根共同募金、リサイクル活動など
11	④	子どもと高齢者、障がい者とふれあい機会の提供	世代間のコミュニケーションを深め、地域社会の連帯感を形成するために、保育園児と祖父母や障がいのある人との体験交流を進めます。 また、中高生が乳幼児とふれあう体験学習、保育ボランティアの受け入れなど、地域の実態に合ったふれあい機会の提供を推進します。	学校教育課	690122 690135	小学校教育活動事業 中学校教育活動事業	現状維持 現状維持	→維持 →維持	・三世代交流活動の実施 ・ふれあい学習会、収穫祭の実施 ・県立三好特別支援学校との交流事業 ・市内保育園における中学生の職場体験の実施 ・総合的な学習の時間における高齢者、障がい者とのふれあいや介護体験活動の実施
12	④	子どもと高齢者、障がい者とふれあい機会の提供	世代間のコミュニケーションを深め、地域社会の連帯感を形成するために、保育園児と祖父母や障がいのある人との体験交流を進めます。 また、中高生が乳幼児とふれあう体験学習、保育ボランティアの受け入れなど、地域の実態に合ったふれあい機会の提供を推進します。	子育て支援課	680102	保育園運営事業	現状維持	→維持	園児と地域老人との交流、中高生と保育園児など世代間交流の促進 ・お遊戯会、ひな祭りへの招待 おこしものづくり等 ・中高生の保育体験の受入
13	⑤	家庭における福祉教育の推進	家庭において、幼児期から青少年にかけてそれぞれの時期に応じて家庭に合わせた家庭教育の在り方に対する教室の開催 ・子育て支援センター連絡調整会議の開催(年8回) ・育児講座の開催(23回、あかちゃんマッサージ、人形劇等) ・子育てサークル学習会の開催(年2回)	子育て支援課	680313	子育て支援センター運営管理事業	現状維持	→維持	幼児期から青少年にかけてそれぞれの時期に応じた家庭教育の在り方に対する教室の開催 ・子育て支援センター連絡調整会議の開催(年8回) ・育児講座の開催(23回、あかちゃんマッサージ、人形劇等) ・子育てサークル学習会の開催(年2回)

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
14	⑩	子ども会などによる児童福祉活動の推進	児童が自主性、社会性を持って健全に育つことができるように、子育てクラブや子ども会に対して活動費補助などの支援を行い、組織の発足、拡充を図ります。	子育て支援課	700102 700101	子育てクラブ活動費補助事業 子ども会活動費補助事業	総合 現状維持 →維持	→維持 →維持	各地区の子ども会(21団体)地区子育てクラブ(17団体)に対して、地域社会における児童の福祉増進を目的として活動に係る費用に対して補助を行った。
15	⑦	福祉に関する研究会・講演会の充実	全ての住民の福祉に対する関心を高めるために、福祉について考える講習会を開催します。また、福祉分野において住民が実生活に役立つ知識を身に付けるための研究会を行い、内容の充実を図ります。	社会福祉協議会		法人運営事業 (法人運営事業) 老人クラブ連合会 ボランティア連絡協議会	現状維持 →維持 現状維持 →維持	→維持 →維持 →維持	【社会福祉協議会】 ・管理栄養士による栄養講座(低栄養予防) みよし市立福祉センター 8/24・9/11、参加者22名 ・歯科衛生士による歯科講座(口腔ケア、口腔機能向上) みよし市立福祉センター 11/16・12・21、11名 【老人クラブ連合会】 ・特別講演会 テーマ①地域包括ケア時代における老人クラブ テーマ②マイナンバー制度の理解とその対応について みよし市立福祉センター 2/10、参加者136名 【ボランティア連絡協議会】 ・特別講演会 テーマ①寸劇で楽しみながら学ぶ認知症 テーマ②西三河地区の認知症・高齢者に関するボランティア活動報告 みよし市立福祉センター 1/23、参加者135名
16	①	世代や障がいの有無を越えた交流機会の充実	ノーバードイゼーションの理念に基づき、高齢者や障がいのある人、ボランティアなどが一堂に会し、交流を深めることを目的としたイベントを開催します。	社会福祉協議会		共同基金配分事業 (障がい者・児童福祉活動事業)	現状維持 →維持	→維持	【障がい者・児童福祉活動事業】 ・ふれあいイベントの開催(年1回) 当事者団体を含む実行委員会組織で事業実施 交流会:6/28、参加者:180名、作品展示101点 作品展示:7/1-31:みよし市立福祉センターひだまり及びイオン三好店

基本方針1. みんなで共に支え合う地域づくり ～住民の福祉意識の高揚～
 (3)地域住民の交流活動の促進

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
17	②	生涯学習活動を 通じた仲間づくりの 促進	生涯学習活動を通して、住民同士が交流し、人の和が育つよう、同じ内容を学習している人はもちろん、講座の枠を超え、学習に参加している人々の交流を促す場づくりを努めます。	生涯学習推進課	570104 570206	みよし総合カレッジ講座運営事業 生涯学習発表会開催事業	統合 現状維持	→ 維持 → 維持	<ul style="list-style-type: none"> ・学習交流センターを拠点に、「公開講座」「生活創造講座」「親子短期講座」「国慶理解講座」「情報・通信講座」など、生涯学習講座149講座を開催。講座開催回数692回、2,277人が受講。 ・生涯学習情報誌を年間3回作成。(7月、11月、3月) ・生涯学習活動登録団体を募集し、21団体が登録。 ・平成28年3月5日(土)～6日(日)文化センターサザンコートにて、生涯学習発表会を開催し41団体が出演。芸能発表者312人、作品展示543点、お茶会16人が発表し、2,124人が来場した。
18	③	地域における自主的な 福祉学習の促進	福祉に関する講習会・研修会などの参加者が、そこで得た知識や経験を生かして地域で自主的な学習会を開催することができるよう、ボランティアの紹介や学習機会の提供などを行います。また、市立図書館などに譲り、自主的な福祉学習を支援します。 ボランティアセンターの機能強化を行い、自主的活動が推進されるよう支援します。	社会福祉協議会		ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業) 共同募金配分金事業 (地域福祉支援事業)	現状維持 現状維持	→ 維持 → 維持	<ul style="list-style-type: none"> 【ボランティアセンター活動事業】 ・夏休みキッズボランティア塾 ～作って学ぶエコキャップ～ 7/30.31、参加者10名 ・夏休みキッズボランティア塾 ～青少年のボランティア体験～ 8/19.20.28、参加者9名 ・要約筆記ボランティア講座 11/29.16、参加者9名 【地域福祉支援事業】 ・福祉活動用品の貸し出し (ポップコーン、わたがし、かき氷等)年間52件 ・福祉に関するDVDの貸し出し
19	④	子育てを通じた 交流活動の推進	市内5カ所に子育て支援センターを設置し、子育て中の親が自由に集まり、交流できる場を提供し、子育てに関係する機関や関係者が連携して子育ての支援を行います。また、子育て支援センターを中心として開催している親子教室や育児講座については、参加しやすいよう事業内容の検討を図ります。	子育て支援課	680313	子育て支援センター運営管理事業	現状維持	→ 維持	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを5箇所設置 ・子育て支援事業として、ふれあい広場、子育て支援センターにおいてわくわくルーム、あかちゃんルーム、ひよちゃんルーム、育児講座、カンガルーのへや、空き保育室、園庭開放を実施。 ・子育て支援センター連絡調整会議の開催(年8回) ・育児講座の開催(23回、あかちゃんママサークル、人形劇等) ・子育てサークル学習会の開催(年2回)
20	⑤	青少年や若年層の 地域活動への 参加促進	子ども会やジュニアクラブ、青少年育成団体などの地域活動を支援し、子どもや青少年の社会参加を促進します。	子育て支援課	700108 700103	青少年健全育成推進事業 みよし子ども会育成協議会補助 事業	現状維持 統合	→ 維持 → 維持	<ul style="list-style-type: none"> 「地域ぐるみで推進しよう非行のない町づくり」をスローガンとして、青少年健全育成推進団体における組織の強化充実を図るとともに、青少年の非行防止と健全育成を図る各種活動を行うため、地区の青少年健全育成推進団体、中学生を対象としたジュニアクラブなどに補助を行って、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成を推進した。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			今後の事業の方向性	成果の方向性	平成27年度に行つた事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名				
21	⑥	高齢者の交流の機会の提供	市内の高齢者が自立した生活ができるように福祉センター内でなかよしサロンを開催し、交流や介護予防の事業を行います。	長寿介護課	550510	なかよしサロン事業	廃止・休止	→維持	要介護、要支援の認定を受けていない在宅の65歳以上の人が、地域社会の中で自立した生活安心して暮らすことができるよう支援することを目的に、福祉センター内にある「なかよしサロン」への送迎、同サロン内での健康チェック、生活指導、日常生活訓練、入浴、食事などの提供を行うことにより、対象者の閉じこもり予防や生活機能のレベルアップに寄与できた。(年間 利用人数 2,256人) ※平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行	
22	⑦	既存施設などの活用による交流の場の提供	住民同士がいつでも気軽に集うことができるように、公民館や学校の施設などの既存の公共施設の公共施設を支援のない範囲で住民に開放し、交流の場として提供します。施設の開放にあたっては、居住場所に関わらず住民の誰もが利用できるようにします。	教育行政課 (資料館)	580312	資料館展示事業	現状維持	↑向上	認知症、閉じこもりの予防及び治療となる手法及び非薬物療法のひとつとして、回想法が注目されている。現在、高齢者(個人及び家族)や高齢者施設の利用者が来館され、各々に子どもころの記憶を思いだして、懐かしく語られています。 【展示事業】 ・常設展示(昔の道具等) 平成27年4月1日～平成28年3月31日 ・春季企画展 平成27年5月2日～平成27年6月28日 花と緑の古陶～古代みよしを彩った、花文と吹鞠の世界～ ・夏季企画展 平成27年7月11日～平成27年9月6日 ～昆虫の世界へようこそ～ ・秋季特別展 平成27年10月10日～平成27年12月6日 ～伊豆原麻谷とその時代～ ・冬季企画展 平成28年1月23日～平成28年3月21日 第34回ひな人形展 ※休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始	
23	⑦	既存施設などの活用による交流の場の提供	住民同士がいつでも気軽に集うことができるように、公民館や学校の施設などの既存の公共施設を支援のない範囲で住民に開放し、交流の場として提供します。施設の開放にあたっては、居住場所に関わらず住民の誰もが利用できるようにします。	学校教育課 (小中学校)					・学校施設の地域開放の実施	
24	⑦	既存施設などの活用による交流の場の提供	住民同士がいつでも気軽に集うことができるように、公民館や学校の施設などの既存の公共施設を支援のない範囲で住民に開放し、交流の場として提供します。施設の開放にあたっては、居住場所に関わらず住民の誰もが利用できるようにします。	産業課 (緑と花のセンター)	530403 630301 630302	緑と花のセンター管理運営事業 産業フェスタみよし実行委員会補助事業 さんさんの輝イベント実行委員会補助事業	現状維持 現状維持 現状維持	→維持 →維持 →維持	・緑と花のセンター建屋及び屋外管理地景観保全 ・貸し施設の適正な管理 ・産業フェスタみよし2015を11月に開催 ・ふれあいフェスタ2015を9月に開催 ・野菜づくり講習会を年3回(4, 9, 2月)開催	

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
25	⑦	既存施設などの活用による交流の場の提供	住民同士がいつでも気軽に集うことができるように、公民館や学校の施設などの既存の公共施設を支援のない範囲で住民に開放し、交流の場として提供します。施設の開放にあたっては、居住場所に関わらず住民の誰もが利用できるようにします。	健康推進課	560207	母子保健指導事業	拡大	向上	0歳から3歳までの児と保護者同士の交流を目的に親子交流支援事業を年12回開催(延べ647人)
26	⑦	既存施設などの活用による交流の場の提供	住民同士がいつでも気軽に集うことができるように、公民館や学校の施設などの既存の公共施設を支援のない範囲で住民に開放し、交流の場として提供します。施設の開放にあたっては、居住場所に関わらず住民の誰もが利用できるようにします。	生涯学習推進課	570101	勤労青少年ホーム講座・交流活動事業	統合	維持	・青少年ホーム居合道クラブ、茶道クラブ、写真クラブ、レザークラブが年間を通じて利用。
27	⑧	ふるさとふれあい広場の指定管理者制度導入	ふるさとふれあい広場を指定管理者制度により、地元行政区に管理を委託し、住民にとってより使いやすい施設となるよう充実を図ります。	協働推進課	710102	明知下ふさとふれあい広場管理事業	改善	維持	・地域に密着した「明知下ふさとふれあい広場」は、明知下行政区を指定管理者として契約し、管理運営を行いました。

基本方針1. みんなで共に支え合う地域づくり ～住民の福祉意識の高揚～
(4)地域における支え合い活動の促進

28	①	各地域における活動の支援	各地域における地域組織や各種団体が開催する集会・研修会などに対する支援とともに、行政区やコミュニティの実施する行事に対する支援を行い、地域組織の活性化を図ります。	協働推進課	710103	行政区活動事業	現状維持	維持	・行政区活動に対する補助金等の交付や地域振興に対する支援等を行いました。 ・地区コミュニティ活動に対する一括交付金の交付を行いました。
29	②	助け合いチケット事業の継続実施	地域社会を活性化させ、ボランティアが循環し、お互いにおのずと助け合い、支え合いながら誰もが安心して暮らせる地域社会にするために、地域通貨としてのみよし市助け合いチケット事業を継続的に実施していきます。	福祉課	550101	社会福祉団体活動支援事業	現状維持	維持	三好助け合いチケットじやんじやん ・登録会員 61人 ・加盟店 7店舗 ・課名施設 6箇所 ・サービス提供活動回数 281回 ・チケット流通数 341,700JAN お金という価値尺度では表せない「力」「知恵」「時間」「モノ」などを持ち寄り交換することによって、近隣が助け合い、信頼関係のある豊かな地域コミュニティをつくることができました。

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業 の方向性		成果の 方向性
30	③	地域ぐるみでの子育て支援を支える環境づくり	地域ぐるみで子育てを支える環境づくりを進めるため、子育てに関する知識を提供するセミナーや子育てサークルリーダーを育てる研修会などを開催し、地域の子育て力の向上を図ります。	子育て支援課	680313	子育て支援センター運営管理事業	現状維持	→維持	子育てを支援する環境づくりを推進した。 ・育児講座の開催(23回) あかちゃんマツサージ、人形劇等) ・健康講座の開催(12回) ・子育てサークル学習会の開催(年2回) ・親子遊び(地区子育て支援センター及び保育園で実施) ・子育て情報誌の発行(年6回)
31	④	地域組織の活性化	地域の生活課題を地域の住民で解決し、より住みやすい地域としたい。ため、行政区のあり方を検討し、効果的な活動を行うことができるよう、地域組織活動のノウハウの提供を行い、地域組織の活性化を支援します。	協働推進課	710106	行政区活動事業 地区コミュニティ活動推進事業	現状維持	→維持	・地域が抱える課題を解決するため、行政区、地区コミュニティ推進協議会及び市民活動団体とみよし市が、連携及び協力し、行政区、地区コミュニティ推進協議会及び市民活動団体の主体性及び自発的なまちづくりに取り組みを公益活動を支援することを目的に、「みよし市が抱える地域広域連携補助金交付要綱」を制定しました。 ・事業実施に向け行政区、地区コミュニティ推進協議会及び市民活動団体を対象とした研修会を行いました。
32	⑤	ひとり暮らし高齢者などへの声かけ、見守り活動の促進	ひとりで生活している高齢者や障がいのある人が地域で孤立しないように、民生委員・児童委員、ボランティアなどによる安全確認や、近隣の住民による定期的な声かけ、見守り活動を促進します。	福祉課	550201	民生児童委員活動事業	現状維持	→維持	民生児童委員がその活動の一環として、ひとり暮らし高齢者などへ普段から声かけなどを行い、安全確認を行っている。 あわせて、市から提供された避難行動要支援者名簿を活用し、自主防災会に協力して名簿情報提供者の個別支援計画の作成を行うなど、災害時において地域で支え合う体制づくりに努めている。
33	⑤	ひとり暮らし高齢者などへの声かけ、見守り活動の促進	ひとりで生活している高齢者や障がいのある人が地域で孤立しないように、民生委員・児童委員、ボランティアなどによる安全確認や、近隣の住民による定期的な声かけ、見守り活動を促進します。	長寿介護課	550527	地域支え合い体制づくり事業	拡大	→維持	・市内3か所(きたよし地区、なかよし地区、みなよし地区)に設置した在宅介護支援センターにおいて、65歳以上高齢者の実態把握をはじめ、在宅での介護が必要な高齢者及びその家族等の在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種サービスの実施機関と連絡調整等の便宜を提供することができた。(年間 実態把握件数 2,064件、相談件数 2,085件) ・地域支え合い体制づくり事業として、認知症の高齢者の徘徊行動を想定し、東山行政区を中心とした天王地区コミュニティで、捜索する模擬訓練を実施した。(参加協力者 延75人)
34	⑥	地域で困っている人の情報把握及び地域住民への周知	民生委員・児童委員による調査活動を通して、ひとり暮らしや寝たきりの高齢者など保護を必要とする人の状況などを常に把握し、本人の同意が得られる情報については周辺の住民に周知し協力を依頼するなど、地域での助け合い、支え合いの体制づくりを促進します。	福祉課	550201	民生児童委員活動事業	現状維持	→維持	地域において災害時に自ら避難をすることが困難な避難行動要支援者を把握し、必要に応じて市に避難行動要支援者登録を行っている。 あわせて、市から提供された避難行動要支援者名簿情報をもとに自主防災会と共有し、自主防災会に協力して名簿情報提供者の個別支援計画の作成を行うなど、災害時において地域で支え合う体制づくりに努めている。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事業進捗状況			事業進捗状況 【具体的に記載】
					番号	事業名	今後の事業の方向性	
35	①	助け合いの場や組織に関する情報提供の充実	行政区、老人クラブ、子ども会などの地域組織や、障がい者団体、子育てに関するサークル、ボランティア団体など各種団体についての情報を広報紙やホームページなどを通じて積極的に提供し、地域における助け合い活動が活発になるよう支援します。 また、子ども会の連絡会議を設置し情報交換を図るなどの取り組みを推進します。	子育て支援課	700101	子ども会活動費補助事業	改善 →維持	平成27年度に行った事業 【具体的に記載】 子ども会が地域で具体的にボランティア活動に取り組めるよう、子ども会指導者会議など情報交換できる機会を設けた。 また、子ども会活動をサポートするジュニアリーダークラブでは、中高生がボランティア活動に取り組めるようにした。
36	①	助け合いの場や組織に関する情報提供の充実	行政区、老人クラブ、子ども会などの地域組織や、障がい者団体、子育てに関するサークル、ボランティア団体など各種団体についての情報を広報紙やホームページなどを通じて積極的に提供し、地域における助け合い活動が活発になるよう支援します。 また、子ども会の連絡会議を設置し情報交換を図るなどの取り組みを推進します。	社会福祉協議会		老人クラブ連合会 障がい者福祉協議会 手をつなぐ親の会	現状維持 →維持 →維持 →維持 →維持	【老人クラブ連合会】 【身体障がい者福祉協議会】 【手をつなぐ親の会】 ・運営助成金交付 ・活動支援(事務手続き、会議、関係団体との調整等) 【子ども会育成協議会】 ・運営助成金交付
37	⑧	住民の発想を取り入れた地域福祉の推進	住民が主体となって地域福祉活動を進めることができるよう、ホームページや提言箱などにより地域福祉活動に関する意見を聞き、住民の発想を取り入れた地域福祉の推進に努めます。	福祉課	741305	地域福祉計画策定事業	現状維持 →維持	市ホームページや提言箱などにより、地域福祉に関する提言を随時受け付けている。 第3期地域福祉計画作成年度により、(案)のパブリックコメントを平成28年1月15日から2月19日まで行った。

基本方針2. 地域でサービスを利用しやすい体制づくり ～広報・相談体制の充実～
(1)二一の把握及び情報提供の充実

38	①	ホームページなどを活用した住民ニーズの把握	住民のニーズに合致した適切なサービスを提供できるように、ホームページ、提言箱等を活用して住民ニーズの把握に努めます。	福祉課	741305	地域福祉計画策定事業	現状維持 →維持	市ホームページや提言箱などにより、地域福祉に関する提言を随時受け付けている。 第3期地域福祉計画作成年度により、(案)のパブリックコメントを平成28年1月15日から2月19日まで行った。 ・民生委員の各専門部会で、福祉施設の視察研修等を行い、地域福祉への理解を深めた。 H28.2.14(土)、みよし市役所において障がい者自立支援協議会主催の講演会を開催。 【第1部】講演「生活困難者自立支援法の概要」 【第2部】講演「生活困難者支援、実践から見えてきたもの…」 【第3部】実践報告「みよしの現状と今後に向けて」 来場者数：約90名 障がい者自立支援協議会の動向紹介、周知、啓発を行うことができた。
39	②	福祉に関する学習機会の提供	住民が地域福祉活動を主体的に行うことができるように、公的福祉サービスの元になる法制度や政策等の学習会の実施を検討します。	福祉課	550201 550705	民生児童委員活動事業 障がい者自立支援事業	現状維持 →維持 →維持	・平成26年度に第3期地域福祉計画の策定に向けた市民アンケート調査を行った。 市ホームページや提言箱などにより、地域福祉に関する提言を随時受け付けている。 第3期地域福祉計画作成年度により、(案)のパブリックコメントを平成28年1月15日から2月19日まで行った。
40	③	福祉ボランティアグループなど住民自らニーズを調査する機会の創出	住民アンケート・ヒアリングなど、住民ニーズと公的サービスの隔たりを福祉ボランティアグループなど住民自ら調査する機会をつくり、調査活動のための費用負担や調査方法のノウハウの提供などの支援を行います。	福祉課	741305	地域福祉計画策定事業	現状維持 →維持	

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			今後の事業 の方向性	成果の 方向性	平成27年度に行つた事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名				
41	④	広報などを活用した情報提供の充実	福祉に関する情報やボランティア情報、地域で行われている福祉関連活動報告など、福祉に関わるさまざまな情報を広報紙、ホームページ等にわかりやすく掲載し、情報提供の充実を図ります。	福祉課						市ホームページや市広報等を活用した情報提供を随時実施した。
42	④	広報などを活用した情報提供の充実	福祉に関する情報やボランティア情報、地域で行われている福祉関連活動報告など、福祉に関するさまざまな情報を広報紙、ホームページ等にわかりやすく掲載し、情報提供の充実を図ります。	社会福祉協議会	企画・広報事業 (機関紙発行事業) ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業) 介護保険事業 (通所介護事業) 高齢者等支援事業 (なかよしサロン事業) 高齢者等支援事業 (シルバー・ハワジンング事業) 老人クラブ連合会 身体障がい者福祉協議会 手をつなぐ親の会 ボランティア連絡協議会	現状維持 現状維持 現状維持 現状維持 現状維持 現状維持 現状維持 現状維持 現状維持 現状維持	→維持 →維持 →維持 →維持 →維持 →維持 →維持 →維持 →維持 →維持	【機関紙発行事業】 ・社協だより発行(年6回) ・ホームページ公開(適時) 【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) 【通所介護事業】 ・健取の里新聞:ニューズレター(年2回) ・なかよしサロン新聞:華(年4回) 【シルバー・ハワジンング事業】 ・シルバー・ハワジンング新聞:わ〜い(年1回) 【老人クラブ連合会】 ・老人クラブ広報(年3回)会員向け 【手をつなぐ親の会】 ・たんぽぽ通信(年6回)会員向け 【ボランティア連絡協議会】 ・ボランティア連絡だより(年4回)会員→一般市民向け		

基本方針2. 地域でサービスを利用しやすい体制づくり ～ 広報・相談体制の充実～
 (2)福祉に関する相談体制の整備

43	①	専門機関との連携による相談体制の充実	住民の悩みごと、心配ごとなどの解消または軽減を図るため、専門家に係る助言や専門機関への案内などをすることで、安心で豊かな生活環境の実現に努めます。	市民課	740801	相談事業	現状維持	→維持	<ul style="list-style-type: none"> 一般住民相談を休日、祝日を除く毎日開催 人権及び行政相談を毎月10日(休日の場合は翌日)に開催 法律相談を毎月第2金曜日(休日の場合は前日)に開催 司法書士・行政書士・土地家屋調査士合同相談を毎月第3火曜日(休日の場合は翌日)に開催 外国人相談を毎週火、金曜日(休日の場合は休み)に開催 特設人権相談を人権擁護委員の日及び人権週間開催 特設行政相談を行政相談週間に実施
44	②	福祉に関する相談体制の充実	行政庁内LAN(Local Area Network (ローカルエリアネットワーク)複数のコンピュータを相互にデータを伝送・利用するネットワーク)による福祉サービスの端末を活用し、住民の福祉に関する個々の相談において、関係各課で横断的に対応していきます。 また、他の行政機関や民間関係機関との連携を図り、相談者本位の相談・支援体制の構築に努めます。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持	→維持	平成26年4月に設置した「みよし市福祉総合相談センター(さくしの窓口)」の従来の対象者(障がい者(児)、高齢者)に生活困難者を加え、相談・支援体制の強化を図った。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性	
45	③	子育て相談窓口の充実	児童虐待に関することや、子どものしつけや発達の問題について、家庭相談員を配置し、関係機関と連携を図りながら支援に努めます。	子育て支援課	680303	子ども相談・虐待防止事業	現状維持 → 維持	・担当職員(家庭相談員・保育士)による相談の実施 ・関係機関との連携を図るため、要保護児童対策地域協議会実務者会議の定例開催(1回/月)、代表者会議(1回/年)
46	④	福祉サービスに関する苦情の受付	福祉サービス利用者からの苦情を随時受け付け、適切かつ迅速に対応します。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持 → 維持	苦情等に関しては、窓口・電話・メール等で随時受け付けし、迅速・丁寧な対応に努めた。 あわせて、苦情を出さないよう、業務の改善及び職員の資質向上に努めた。
47	④	福祉サービスに関する苦情の受付	福祉サービス利用者からの苦情を随時受け付け、適切かつ迅速に対応します。	長寿介護課	561001	介護保険運営事務	現状維持 → 維持	利用者等からの苦情・相談について、窓口、電話により受け付け、状況に応じて対処した。 特に要質と認められる場合は、愛知県と連携し監査・指導を行うが、平成27年度は監査・指導の該当なし。
48	④	福祉サービスに関する苦情の受付	福祉サービス利用者からの苦情を随時受け付け、適切かつ迅速に対応します。	子育て支援課	680102 680306 700104	保育園運営事業 放課後児童健全育成事業 児童館等活動運営事業	統合 改善 現状維持 → 維持 → 維持 → 維持	保育園、放課後児童クラブ、児童館の利用者からの苦情を真摯に受け止め、保育士、クラブ指導員、児童厚生員に研修を通して資質向上と人材を育成した。

基本方針2. 地域でサービスを利用しやすい体制づくり ～広報・相談体制の充実～
(3)利用しやすいサービスの提供

49	①	サービスの簡素化の検討	サービスの負担を軽減するため、ホームページにおける申請書ダウンロードの実施など、サービスを利用するための手続きの簡素化を進めます。また、あいち電子自治体推進協議会による電子申請・届出システムの各種手続きの利用を促進します。	広報情報課	720801 720802	あいち電子自治体推進協議会システム運用事業 電子自治体基盤管理事業	現状維持 現状維持 → 維持 → 維持	・公共施設予約案内システムの利用。 ・あいち電子申請・届出システムの運用。
----	---	-------------	---	-------	------------------	--------------------------------------	------------------------------	--

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性	
50	①	サービス利用手続きの簡素化の検討	サービス利用者の負担を軽減するため、ホームページにおける申請書ダウンロードの実施など、サービスを利用するための手続きの簡素化を進めます。また、あいち電子自治体推進協議会による電子申請・届出システムの各種手続きの利用を促進します。	社会福祉協議会		企画・広報事業 (機関紙発行事業) 地域福祉活動推進事業 (ホームページ・養成講座) 障がい者・児福祉活動事業 (障がい者カリアリ助成事業)	現状維持 →維持 →維持	【機関紙発行事業】 ホームページへのイベント開催掲載時に、申込書も合わせてダウンロードできるよう掲載し、市民の利便性を高めました。
51	②	高齢者や障がい者が利用しやすいような配慮	高齢者や障がいのある人を含めたすべての住民が、現在実施しているサービスや各種制度を利用しやすいため、窓口での対応方法やホームページのバリエーション化を含む情報提供方法及びサービスの内容を、ホームページ上の理念のもとで改善します。また、各種施設のバリエーション化をはじめとする誰もが円滑に利用できる施設設備を推進します。	福祉課	720109 総合福祉ガイダンス作成事業	現状維持 →維持	市ホームページや広報みよし、総合福祉ガイダンスを活用した情報提供を行った。	
52	②	高齢者や障がい者が利用しやすいような配慮	高齢者や障がいのある人を含めたすべての住民が、現在実施しているサービスや各種制度を利用しやすいため、窓口での対応方法やホームページのバリエーション化を含む情報提供方法及びサービスの内容を、ホームページ上の理念のもとで改善します。また、各種施設のバリエーション化をはじめとする誰もが円滑に利用できる施設設備を推進します。	長寿介護課	561007 介護保険趣旨普及事務	現状維持 →維持	窓口等において、総合福祉ガイダンスや各種パンフレット等を用いて、介護保険制度に関する説明を、高齢者等にわかりやすく説明した。	
53	②	高齢者や障がい者が利用しやすいような配慮	高齢者や障がいのある人を含めたすべての住民が、現在実施しているサービスや各種制度を利用しやすいため、窓口での対応方法やホームページのバリエーション化を含む情報提供方法及びサービスの内容を、ホームページ上の理念のもとで改善します。また、各種施設のバリエーション化をはじめとする誰もが円滑に利用できる施設設備を推進します。	都市計画課	741701 市有施設建築工事受託事業	現状維持 →維持	バリエーションに配慮、対応した設計工事を行った。 北中学校大規模改修事業	
54	②	高齢者や障がい者が利用しやすいような配慮	高齢者や障がいのある人を含めたすべての住民が、現在実施しているサービスや各種制度を利用しやすいため、窓口での対応方法やホームページのバリエーション化を含む情報提供方法及びサービスの内容を、ホームページ上の理念のもとで改善します。また、各種施設のバリエーション化をはじめとする誰もが円滑に利用できる施設設備を推進します。	社会福祉協議会		企画・広報事業 (機関紙発行事業) 老人福祉センター事業 (老人福祉センター事業)	現状維持 →維持 →維持	【機関紙発行事業】 事業を広くPRできるよう、行政区回覧板を活用したり、市役所やサンネットの情報ラックにチラシを設置するなどPRに努めた。
55	③	福祉サービスの整備の促進	子どもや高齢者及び障がいのある人の数や動向を把握した上で、ニーズに応じた保育・高齢福祉・障がい福祉などの福祉サービス提供事業所の整備を促進し、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。	福祉課	55708 障がい者福祉センター事業	現状維持 →維持	障がい者福祉センターを指定管理により社会福祉法人が運営管理を行い、地域生活支援事業の地域活動支援センター事業を実施し、各種相談、機能回復や創作的活動を行った。	

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
56	③	福祉サービス提供の整備の促進	子どもや高齢者及び障がいのある人の人数や動向を把握した上で、ニーズに応じた保育・高齢福祉・障がい福祉などの福祉サービス提供事業所の整備を促進し、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。	長寿介護課	561003	事業計画推進事業	現状維持	維持	事業所の開設を検討している事業者等からの問合せに対し、第6期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画に即して、必要な指導を行った。
57	③	福祉サービス提供の整備の促進	子どもや高齢者及び障がいのある人の人数や動向を把握した上で、ニーズに応じた保育・高齢福祉・障がい福祉などの福祉サービス提供事業所の整備を促進し、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。	子育て支援課	680106 680307	民間保育園施設整備運営補助事業 放課後児童健全育成事業	現状維持 統合	維持 維持	・増加する低年齢児を保育園に受け入れることができるよう市内の民間保育園の運営に対し、民間保育園の保育環境の向上に資することを目的に補助金を交付。 ・定員等により公立児童クラブに入所できない、市内の民間保護者がいない家庭の小学1年生から4年生までの児童が民間児童クラブを利用した場台、公立と同等の利用料での利用ができるように補助金を交付。 ・児童数が増加している北部小学校区に児童クラブを新設するため設計委託を実施し、建設工事に着手した。
58	④	権利擁護に関わる事業の促進	高齢者などの権利を守るため権利擁護に関わる相談などに対応します。また、成年後見制度に関する情報提供を行い、成年後見に取り組みむ団体などを紹介するなど、制度の利用を促進します。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持	維持	権利擁護支援業務を愛知県司法書士会に委託し、権利擁護に関わる相談などに対応した。また、当事者団体や相談支援専門員に成年後見制度に関する情報提供を行い、制度の利用促進に努めた。
59	④	権利擁護に関わる事業の促進	高齢者などの権利を守るため権利擁護に関わる相談などに対応します。また、成年後見制度に関する情報提供を行い、成年後見に取り組みむ団体などを紹介するなど、制度の利用を促進します。	長寿介護課	550524	成年後見制度利用支援事業	現状維持	維持	・市内事業所へ会議等の開催に合わせ、制度の周知を行った。 ・窓口などに寄せられた虐待及び支援困難事例において、必要に応じて成年後見制度の利用についての相談、支援を行った。(年間 相談件数 11件 成年後見利用支援実績 0人 後見人費用支援実績 0人)
60	④	権利擁護に関わる事業の促進	高齢者などの権利を守るため権利擁護に関わる相談などに対応します。また、成年後見に関する情報提供を行い、成年後見に取り組みむ団体などを紹介するなど、制度の利用を促進します。	社会福祉協議会		地域福祉活動推進事業 (心配ごと相談事業)	現状維持	維持	【心配ごと相談事業】 ・相談日(毎月2回)件数(年2件) 【総合福祉相談事業】 ・相談日(福祉センター開館日) ・取扱件数(年56件) 【その他支援事業】 ・福祉サービス利用支援事業 利用者数:13人

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
61	⑤	自己評価・第三者評価制度の普及・啓発	サービスの質の向上に向けて、事業者や施設に對して、自己評価及び第三者評価機能による専門的な評価制度の啓発を行い、普及を促進します。また、評価結果を公表し、住民が事業所を選定する際の参考になるように情報提供を行います。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持	→維持	事業者・施設にサービスの評価を行うよう啓発している。
62	⑤	自己評価・第三者評価制度の普及・啓発	サービスの質の向上に向けて、事業者や施設に對して、自己評価及び第三者評価機能による専門的な評価制度の啓発を行い、普及を促進します。また、評価結果を公表し、住民が事業所を選定する際の参考になるように情報提供を行います。	長寿介護課	561001	介護保険運営事務	現状維持	→維持	・事業者の実地指導に合せて、自己評価を3年毎に実施した。(自己評価は3年毎に実施し、次回は平成29年度の予定) ・平成18年から実施されている愛知県介護サービス情報公表システムにより、利用者への情報提供を行った。

基本方針3. 地域で安全に安心して暮らせる環境づくり ～サービスの質の向上と拡充～
 (1)健康づくり・生きがい活動の推進

63	①	高齢者や障がい者の生涯学習活動への支援	春大学や健康体操教室などのいきいき講座を開催し、高齢者の交流や身近な施設などでの学習活動を推進します。また、より多くの高齢者や障がいのある人が参加でき、世代を超えて交流することのできる環境整備について推進します。	福祉課	550301	総合福祉フェスタ開催事業	現状維持	→維持	総合福祉フェスタ外に於いてふれあいコンサートを開催し、幅広い世代や障がい者等が音楽を通じた交流を図ることができた。
64	①	高齢者や障がい者の生涯学習活動への支援	春大学や健康体操教室などのいきいき講座を開催し、高齢者の交流や身近な施設などでの学習活動を推進します。また、より多くの高齢者や障がいのある人が参加でき、世代を超えて交流することのできる環境整備について推進します。	長寿介護課	550518	在宅介護支援センター運営管理事業	統合	→維持	市内3か所(きたよし地区、なかよし地区、みなよし地区)に設置した在宅介護支援センターにおいて、体操やフラワーアレンジメントなどによる介護予防教室を開催した。(年248回開催、5,706人参加) ※平成29年度より地域包括支援センター運営事業に移行
65	①	高齢者や障がい者の生涯学習活動への支援	シニア講座や健康体操教室などのいきいき講座を開催し、高齢者の交流や身近な施設などでの学習活動を推進します。また、より多くの高齢者や障がいのある人が参加でき、世代を超えて交流することのできる環境整備について推進します。	生涯学習推進課	570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業	統合	→維持	・高齢者限定講座1講座(講座回数9回)高齢者優先講座12講座(講座回数88回)を開催。 ・レクイエーションダンス講座(回数9回及び生涯学習発表会参加)

整理番号	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			今後の事業の方向性	成果の方向性	平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
				番号	事務事業名	今後の事業の方向性			
66	② 健康に関する教育及び相談の充実	対象年齢層に合わせた健康に関する教育や相談事業などを実施し、健康増進と病予防のための事業を充実することで、健康に関する正しい知識を住民に提供し、自主的な健康管理の実践を促進します。	健康推進課	560106	健康相談事業	現状維持	→ 維持	妊婦中から高齢者までの市民を対象に、月曜健康相談・月曜健康育児相談・成人歯科相談・母子歯科保健教室・すくすく教室・健診事後教室等健康教育を実施(延べ4,863人)	
				560107	健康教育事業	拡大	↑ 向上		
				560207	母子保健指導事業	拡大	↑ 向上		
67	③ 高齢者の社会参加の促進	シルバー人材センターを中心とした高齢者の能力を生かす就業機会の提供や老人クラブ活動への支援を行うとともに、老人憩いの家をより一層利用しやすい施設とすることで、高齢者の社会参加を促進します。	長寿介護課	570301	シルバー人材センター補助事業	現状維持	→ 維持	・社団法人みよし市シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など、高齢者の生きがい、就業に際し、補助金を交付し、豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や活力ある地域づくりに貢献できるよう支援した。(年間 会員数 358人、事業件数 2,084件、就業延人員 45,427人) ・老人憩いの家全館(12館)の運営管理を指定管理者である各地区老人クラブが行った。また西一色老人憩いの家耐震改修工事、中部老人憩いの家空調取替工事、三好下老人憩いの家窓ガラス飛散防止及び屋根補修工事を実施した。(年間利用人数 56,344人)	
				550603	老人憩いの家運営管理事業	現状維持	→ 維持		
68	④ 体力づくり、スポーツ活動への参加促進	体育祭やマラソン大会などの体力づくり事業や、各種スポーツ教室を充実させ、体力づくりやスポーツ教室に参加し易い環境づくりに努めます。また、総合型スポーツクラブの育成に努め、スポーツを通じた交流や仲間づくりへの支援を行い、地域での人々の交流を促進します。	スポーツ課	590301	総合型地域スポーツクラブ運営補助事業	現状維持	→ 維持	【総合型地域スポーツクラブ運営補助事業】 なかよしクラブ、三好さんさんスポーツクラブの運営補助、きたよし地区総合型地域スポーツクラブの設立補助をし、地域のスポーツ活動に寄与した。 【マラソン駅伝大会実行委員会補助事業】 地区スポーツ委員会、スポーツ推進委員会、実行委員会を推進したのち1/31に大会を開催した。 【地域対抗ソフトボール大会開催事業】 地区スポーツ委員会、スポーツ推進委員会を開催したのち6/7(予選)、6/13(決勝戦)に大会を開催した。 【みよし市体育祭実行委員会補助事業】 地区スポーツ委員会、スポーツ推進委員会を推進し、実行委員会を推進したのち10/9に大会を開催予定だったが、雨天中止となった。 【スポーツ教室開催事業】 前期、後期に分け実施した。 前期教室(4教室)5/9～8/29 後期教室(4教室)9/2～11/21	
				590402	マラソン駅伝大会実行委員会補助事業	改善	→ 維持		
				590405	地域対抗ソフトボール大会開催事業	統合	→ 維持		
				590407	みよし市体育祭実行委員会補助事業	統合	→ 維持		
				590501	スポーツ教室開催事業	現状維持	→ 維持		
69	⑤ 各年代に限らない生涯スポーツ活動の推進	各年代や健康状態などに応じたスポーツ教室を開催するとともに、誰もが楽しめるレクリエーションスポーツを導入し、世代や障がいの有無に関わらず、全ての住民がスポーツに親しめるよう、他部局とも連携して支援します。	スポーツ課	590501	スポーツ教室開催事業	現状維持	→ 維持	【スポーツ教室開催事業】 前期、後期に分け実施した。 ・前期教室(4教室)5/9～8/29 ・後期教室(4教室)9/2～11/21	

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業 の方向性	

70	⑥	学校体育施設の 利用促進	身近な施設である小中学校の体育館や中学校 の武道館などを開放し、気軽にスポーツができる 環境づくりを推進します。	スポーツ課	590106	学校開放事業	現状維持	→維持	【学校開放事業】 4月～3月まで89団体が活動した。 市内8小学校体育館、4中学校体育館、4中学校武道場の月～土18: 30～21:30を団体に登録後貸出実施した。 延べ利用日数 2,988日 延べ利用人数 56,739人
----	---	-----------------	--	-------	--------	--------	------	-----	--

71	⑦	各年代やニーズに 応じた生涯学習の 内容充実	子どもから高齢者まで各年代に対応し、住民の 学習ニーズを反映させた内容の生涯学習講座を 開催します。	生涯学習推進課	570104 570101 570104	みよし校学カレッジ講座運営事業 勤労青少年ホーム講座・交流活動 事業 みよし校学カレッジ講座運営事業	統合 統合 統合	→維持 →維持 →維持	一般市民を対象に、「公開講座」「生活創造講座」「親子短期講座」「国際理 解講座」「情報・通信講座」など、生涯学習講座149講座(講座回数692回)を 開催。 勤労者を優先に、勤労青少年ホーム講座14講座(講座回数101回)を開 催。 夏休みを利用し、親子講座13講座(講座回数13回)を開催。 生涯学習講座及び勤労青少年ホーム講座の受講生や勤労青少年ホームの 登録団体が生涯学習発表会参加。
----	---	------------------------------	--	---------	----------------------------	---	----------------	-------------------	--

72	⑧	みんなで取り組める 健康づくり活動の 企画	みんなで取り組める健康づくりについて、住民が 主体となって企画し、実行するための支援を行い ます。	健康推進課	560107 630401	健康教育事業 市町村栄養改善事業	拡大 現状維持	↑向上 →維持	ヘルスパートナーによる企画事業(ウオーケラー、子育てママのワケッ ジュ教室等)、食生活改善推進員による企画事業(60歳からの栄養・健 康教室、できる男のヘルシークッキング、塩分チェック等)(延べ1,250 人)
----	---	-----------------------------	---	-------	------------------	---------------------	------------	------------	--

73	⑨	みんなで取り組める 健康づくり活動の 企画	みんなで取り組める健康づくりについて、住民が 主体となって企画し、実行するための支援を行い ます。	社会福祉協議会		共同募金配分金事業 (障がい者・児福祉活動事業) 共同募金配分金事業 (老人福祉活動事業)	現状維持 現状維持	→維持 →維持	【障がい者・児福祉活動事業】 ふれあいイベントの開催(年1回) 当事者団体を含む実行委員会組織で事業実施 交流会:6/28、参加者:180名、作品展示101点 作品展示:7/1-31:みよし市立福祉センターひだまり 及びイオン三好店 【老人福祉活動事業】 地域介護予防教室の開催(5教室)参加者2,878名 おりがみ教室、歌・リズム運動、健康体操など
----	---	-----------------------------	---	---------	--	--	--------------	------------	---

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			今後の事業の方向性	成果の方向性
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		
74	⑨	介護予防に関する事業の推進	地域において自立生活を営むことができるよう、活動的な高齢者の支援としての「二次予防事業」と、要介護状態などとなるおそれの高い高齢者の支援としての「二次予防事業を実施するとともに、生活支援員の派遣やなかよしサロン事業を推進し、介護予防や生活支援に努めます。	長寿介護課	560901 550501 550510	二次予防事業の対象者把握事業 日常生活支援事業 なかよしサロン事業	廃止・休止 廃止・休止 廃止・休止	低下 維持 維持	<p>平成27年度に行った事業 【具体的に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防事業の対象者を把握するため、基本子チェックリストを実施した。(二次予防対象者 1,204人) ・日常生活支援事業として、要介護、要支援の認定を受けていない65歳以上の人で、支援の必要などより暮らしや高齢者のみの世帯の人に対し、生活支援員が家事等の支援を行った。(年間 延利用人数 37人) ・なかよしサロン事業として、要介護、要支援の認定を受けていない在宅の65歳以上の人が、地域社会の中で自立した生活を安心して営むことができるよう支援することを目的に、福祉センター内に「なかよしサロン」への送迎、同センター内の健康チェック、生活指導、日常生活訓練、入浴、食事などの提供を行うことにより、対象者の閉じこもり予防や生活機能のレベルアップに寄与できた。(年間 利用人数 2,256人) <p>※平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行</p>

基本方針3. 地域で安全に安心して暮らせる環境づくり ～サービスの質の向上と拡充～
(2)安心して暮らせる日常生活の支援

75	①	高齢者に対するサービスの充実	高齢福祉・介護に関する個別計画である「高齢者福祉計画兼介護保険事業計画」に基づいて施策を推進するとともに、支援を必要とする高齢者の把握に努め、サービスの必要性を調査しながら、内容の充実を図ります。 地域において支援を必要とする高齢者の介護者同士での助け合いが行われるよう交流会などを実施し、負担軽減を図ります。NPOなどの協働による支援サービスの推進します。	長寿介護課	561003 560908	事業計画推進事業 家族介護者交流事業	現状維持 現状維持	維持 維持	<p>平成27年度から平成29年度までの第6期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画に基づき各種施策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者交流事業の一環として、要介護状態又は要支援の人を介護する家族の身体的及び精神的負担を軽減し、介護から一時的に解放するための介護者相互の交流会「地域サロン」を開催した。(年 12回開催 65人参加) また、認知症家族支援プログラム修了者や認知症の人を介護している人が交流を深め、地域でのネットワークづくりを進めるために「認知症家族支援交流会」「認知症家族支援プログラム」を開催した。(年 12回開催 126人参加)
76	②	事業者、ボランティアなどの連携による外出支援	高齢者や障がいのある人など、一人での外出が困難な人を支援するため、事業者・ボランティア・NPOなどと連携してガイドヘルプサービスの内容の充実を図ります。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持	維持	<p>市役所福祉課 相談支援事業者等により、相談支援を行い、移動支援等の利用の申請及び支給決定を行った。</p>
77	②	事業者、ボランティアなどの連携による外出支援	高齢者や障がいのある人など、一人での外出が困難な人を支援するため、事業者・ボランティア・NPOなどと連携してガイドヘルプサービスの内容の充実を図ります。	社会福祉協議会		ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業) 共同募金配分金事業 (地域福祉支援事業) 障がい者自立支援事業 (居宅介護事業)	現状維持 現状維持 現状維持	維持 維持 維持	<p>【ボランティアセンター活動事業】 ・赤い羽根号(リフト付ワゴン車)の運転ボランティア(1名) 【地域福祉支援事業】 ・赤い羽根号(リフト付ワゴン車)稼働(年37回) 【居宅介護事業】 ・地域生活支援事業(移動支援事業) 活動できるヘルパー8名、利用者12名</p>

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行つた事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
78	③	さんさんバスによる広域的な交通体系の推進	住民の日常生活の足として定着している「さんさんバス」事業を推進するとともに、近隣市町との相互乗り入れを実施し、広域的な交通システムの充実を図ります。また、住民がより利便性や安全な公共交通の充実を図るため、路線の再編などを検討します。	企画政策課	610301	公共交通推進事業	現状維持	向上	さんさんバス2路線を1日あたり、それぞれ25便ずつ運行して、利用者に安心で利便性の高い公共交通の提供に努めた。 ダイヤ改正後2年を2年を経過したため、バスの利用状況を把握するため利用状況調査を実施し、今後の事業運営の方向性を明らかにした。
79	④	障がいに応じた支援サービスの充実	障がいのある人が安心して地域で自立した暮らしていただけるよう、「みよし市障がい者計画」を策定し、進め、療育体制や相談体制を充実させるとともに、障がいの種類や障がいのある人の状況に応じた各種サービスが提供できるよう、地域での生活支援体制を充実します。	福祉課	550701	障がい者福祉計画策定事業	現状維持	維持	障がい者福祉計画に基づき、障がい者からの相談に応じるとともに、必要なサービスを提供できるよう努めた。
80	⑤	親子通園事業の充実	保護者がゆつこいお子さんを育てて不安を感じている保護者が親子で通園し、ふれあい遊びを通して、保護者と共にお子さんの育ちを支援していきます。	子育て支援課	680302	親子通園事業	拡大	向上	親子通園ルームふたばは、明知保育園の保育室2部屋、3グループで実施(1グループ1週1～2回) ・保護者勉強会の開催(8回) ・心理相談員による発達相談の実施(111回) ・親子通園短期グループふたばは、年間3グループで1グループ週1回の10回(年間30回)
81	⑥	緊急通報システムの事業の実施	緊急事態の発生が予測されるひとり暮らし高齢者や重度身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、緊急事態に対応できるような体制づくりを推進します。	長寿介護課	550508	高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業	改善	維持	対象者が緊急通報装置のボタンを押すことにより、自動的に尾三消防本部へ通報され、迅速に必要な措置がとられるため、日常生活上の不安を軽減することができた。(尾三消防本部への通報83件、うち21件出動対応)
82	⑦	災害時などにおける要援護者の情報の把握	「災害時要援護者支援制度」に基づき、自主防災会、民生委員・児童委員、地域支援者が連携して、災害時に救助が必要な災害時要援護者などの情報を把握します。	福祉課					平成25年8月に改正された災害対策基本法において、地域防災計画の規定により避難行動要支援者名簿を作成することが市町村に義務づけられた。平成26年度にみよし市地域防災計画の中で名簿作成が規定された。それに基づき平成27年度に避難行動要支援者名簿の作成に取り掛かった
83	⑧	緊急・災害時における要援護者に対するマニュアルの作成	緊急・災害時における個々のニーズに応じた救助方法の検討、連絡先の確認などを行い、緊急時対策マニュアルを地域で作成し、共有してまいります。さらに、緊急・災害時に適切な行動が取れるよう、訓練を行います。	福祉課					国の「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に従い、みよし市避難行動要支援者支援計画及び支援マニュアルの作成を進めました。
84	⑨	地域における自主防災組織の育成、支援	各地区の消防団や自主防災組織などに対して定期的な訓練や指導を実施し、地域の防災体制づくりに対する支援の充実を図ります。	防災安全課	620402 620502	防災訓練開催運営事業 消防団運営管理事業	現状維持	維持	・コミュニティ単位での防災訓練を通じた自主防災組織育成の実施(平成27年度は試行的に糠丘コミュニティの防災訓練に参加) ・消防団の各種研修・訓練の実施。 ・消防団の団員報酬、訓練出勤手当、被服等の支給。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性	
			基本方針3. 地域で安全に安心して暮らせる環境づくり ～サービスの質の向上と拡充～ (3)誰もが働きやすい就業環境の整備					
85	①	高齢者の就業機会の提供	高齢者が健やかで生き生きとした老後の生活を維持できるよう、地域において安全で働きやすい就業の機会を確保するため、シルバー人材センターの運営を支援します。	長寿介護課	570301	シルバー人材センター補助事業	現状維持 →維持	公益社団法人みよし市シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など、高齢者の生きがい、事業に対し、補助金を交付し、豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や活力ある地域づくりに貢献できるよう支援した。(年間 会員数 358人、事業件数 2,064件、就業延人員 45,427人)
86	②	障がい者の雇用に 対する支援	公共職業安定所や福祉事業所との連携を強化し、企業における障がいのある人の就労を促進するとともに、障がい者団体や住民、福祉サービス事業所と連携して、福祉的就労の場の充実に取り組みむなど、障がい者雇用に關する事業の推進を図ります。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持 →維持	障がい者就労支援事業を市内法人に委託し、企業における障がいのある人の就労を促進できるよう、講座等を開催した。また、障がい者自立支援協議会就労支援部会を中心に、障がい者に対する就労支援体制について検討した。
87	③	仕事と子育てを 両立できる 環境づくりの 普及啓発	国や県の関係機関などと連携を取り、企業や住民に向けて産後産休休業制度、育児休業制度などの普及啓発活動を推進し、男女がともに仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに努めます。	産業課	640401	就労支援雇用安定事業	現状維持 ↑ 向上	国、県等が作成するパンフレット等を窓口で配布し、啓発を図った。
88	④	母親が働きやすい 保育環境の充実	母親が育児をしながら働くことができるように、多様な就労形態に合わせたさまざまな保育サービスの実施に努めるとともに、ファミリーサポートセンター事業として、地域において子どもを預けたい人と預かりたい人の登録・組織化を行い、地域での子育てを支援します。	子育て支援課	680102 680308 680306	保育園運営事業 ファミリーサポート事業 放課後児童健全育成事業	現状維持 →維持 →維持 改善	・各種保育事業の充実を図るため、延長保育、休日保育、一時保育を 実施した。 ・ファミリーサポート事業として、子育てを助けて欲しい(依頼会員)と子育 てのお手伝いをしたい(援助会員)がお互いに助け合いながら活動を実施 した。(平成27年度依頼会員数166人、援助会員数29人、両方会員数 23人、援助活動の回数1,650回) ・屋間に母親の就業等で保護者のいない世帯の小学1年生から4年生ま で(北部児童クラブ及び夏休みの第2児童クラブ)では6年生までの児童 を児童クラブで預かる放課後児童健全育成事業を実施。
89	⑤	放課後児童クラブの 受け入れ体制の整備	屋間に保護者のいない小学生の放課後の居場所となる放課後児童クラブについて、現状の施設だけでなく小学校内敷地に施設を設置するなど、民間施設と一体となって受け入れ体制の充実を図ります。	子育て支援課	680306	放課後児童健全育成事業	改善 →維持	・市内8小学校区において通年児童クラブを実施(通年利用児童数 べ4,308人) ・空き教室のない緑丘小学校においては、みどり保育園内にある支援セ ンターにて実施。 ・夏季休業期間のみ開設児童クラブとして、空き教室を利用した3小学 校で実施(夏休み期間利用児童数のべ276人)

基本方針3. 地域で安全に安心して暮らせる環境づくり ～サービスの質の向上と拡充～
 (4) 安全な居住・生活環境の整備

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表		今後の事業の方向性	成果の方向性	平成27年度に行なった事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名			
90	①	誰もが円滑に利用できる道路・施設整備の推進	既設及び新設の道路や施設についても誰もが円滑に利用できるような整備を推進します。また、民間施設や店舗などにおいても公共施設と同様に誰もが円滑に利用できるような整備を促進するため、民間事業者に対して建築確認申請時における指導や啓発活動を行うなど積極的に働きかけます。	都市計画課	741701 741702	市有施設建築工事受託事業 建築確認等事務	現状維持 現状維持	→維持 →維持	・北中学校大規模改修事業等の工事で、車椅子対応エレベーターを設置し、バリアフリーに配慮・対応した設計工事を行った。 ・都市計画法、建築基準法等の許認可申請等の相談業務を行い、バリアフリーに配慮、対応するよう働きかけた。
91	①	誰もが円滑に利用できる道路・施設整備の推進	既設及び新設の道路や施設についても誰もが円滑に利用できるような整備を推進します。また、民間施設や店舗などにおいても公共施設と同様に誰もが円滑に利用できるような整備を促進するため、民間事業者に対して建築確認申請時における指導や啓発活動を行うなど積極的に働きかけます。	道路河川課	610501 610502	道路改良事業 都市計画道路整備事業	現状維持 現状維持	→維持 →維持	【道路改良事業】 ・市道黒笹三本木線 工事負担金 【都市計画道路整備事業】 ・都市計画道路緑分池線 用地取得A=550㎡ ・都市計画道路平池天王台線 橋梁下部工 1式 ・都市計画道路青木線 公共施設管理者負担金 1式
92	②	障がい者住居改修費支給制度の利用促進	高齢者や障がい者などが安心して自立した生活を営むことができるよう、住宅を改修する際の補助金交付制度である「障がい者住居改修費支給制度」の利用を促進し、住宅におけるバリアフリー化を推進します。	福祉課	550703	心身障がい者扶助費等給付事業	現状維持	→維持	在宅の心身障がい者に対して住宅改修に関する扶助費を支給した。
93	③	交通安全施設などの整備促進	歩道や道路照明灯、道路反射鏡、カーブミラーなど交通安全施設の維持補修と整備を推進することで、交通事故を防止し、誰もが安全に外出できる環境づくりに努めます。	道路河川課	610801	道路安全施設設置事業	拡大	↑向上	【道路安全施設設置事業】 ・カーブミラー設置 8基 ・照明灯設置 8基 ・市道柳ノ木井ヶ谷線 交差点改良工事 1式 ・車止め設置 38箇所(87基)
94	④	交通安全指導の推進	交通事故のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、年齢に応じた交通安全教室を開催するとともに、ドライバーに対しては安全運転への啓発を行うことで、住民の交通安全意識の高揚を図ります。また、交通安全員・指導員を活用するなど、住民による啓発活動を促進します。	防災安全課	620101 620102 620103 620304	交通安全啓発事業 交通安全員・交通指導員管理事業 高齢者交通安全事業 みよし市安全なまちづくり推進協議会補助事業	現状維持 現状維持 現状維持 現状維持	→維持 →維持 →維持 →維持	・保育園、幼稚園、小学校、中学校、新成人、高齢者への交通安全啓発品の配布。 ・交通安全員・交通指導員による交通安全指導の実施。 ・みよし市安全なまちづくり推進協議会による交通安全啓発活動の実施。 ・高齢者、保育園、幼稚園、小学校、中学校への交通安全教室の実施。

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業 の方向性		成果の 方向性
95	④	交通安全指導の推進	交通事故のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、年齢に応じた交通安全教室を開催するとともに、ドライバーに対しては安全運転への啓発を行うことで、住民の交通安全意識の高揚を図ります。また、交通委員・指導員を活用するなど、住民による啓発活動を促進します。	子育て支援課	680102	保育園運営事業	統合	→維持	【交通安全意識の啓発】 交通安全教室を年1回各保育園で実施した。
96	⑤	防犯意識の高揚に向けた啓発推進	自らもしくは地域で防犯に対する行動や活動を積極的に行うことができれば、犯罪情報を提供するとともに、警察と合同で防犯研修会や防犯教室を開催するなど、防犯への啓発を行うことで、地域から犯罪を減らす意識付けを行います。	防災安全課	620302 620303 620304	防犯推進事業 安心ステーション推進事業 みよよし市安全なまちづくり推進協議会補助事業	現状維持 現状維持 現状維持	→維持 →維持 →維持	・深夜防犯パトロールの実施。 ・青色防犯パトロール講習会、防犯ボランティア養成アカデミーの開催、防犯啓発活動の実施、啓発品の配布。 ・防犯パトロール活動拠点として安心ステーションの運営。 ・みよよし安心ネットによる不審者情報の提供。 ・みよよし市安全なまちづくり推進協議会による防犯啓発活動の実施。
97	⑥	地域における防犯パトロール活動の促進	地域における犯罪を住民の力で防ぐため、自主的に活動する防犯パトロール隊や小学校における保護者などによる見守り活動を促進します。また、市から犯罪情報を積極的に提供するとともに、パトロール隊相互間の情報交換や犯罪情報の共有化を図るため連絡調整会議を開催します。	防災安全課	620304	みよよし市安全なまちづくり推進協議会補助事業	現状維持	→維持	・自主防犯パトロール隊の活動への支援。 ・自主防犯パトロール隊ネットワーク会議を年4回開催。 ・自主防犯パトロールカーの青色回転灯設置の手続きと青色回転灯の貸与。
98	⑥	地域における防犯パトロール活動の促進	地域における犯罪を住民の力で防ぐため、自主的に活動する防犯パトロール隊や小学校における保護者などによる見守り活動を促進します。また、市から犯罪情報を積極的に提供するとともに、パトロール隊相互間の情報交換や犯罪情報の共有化を図るため連絡調整会議を開催します。	学校教育課	690144	児童生徒防犯対策事業	現状維持	→維持	・不審者情報などを緊急メールで一斉配信 ・不審者情報をFAXで関係機関に送信 ・スクールガード、スクールガードリーダーと連携した学校の安全管理体制の整備 ・関係者の会議による情報交換 ・「こども110番の家」ののぼり等を配付 ・緊急情報伝達訓練の実施
99	⑦	特別養護老人ホームなどの高齢者施設の実施	「高齢者福祉計画兼介護保険事業計画」に基づき、必要な定員数の整備を進めます。特別養護老人ホームなどの施設内で障がい者トイレなどを活用できるような施設整備を進めるなど、住民ニーズを十分に把握した上で、それに対応できるような施設サービスの基盤整備について、果や民間事業者との連携により取り組みます。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持	→維持	特別養護老人ホームみよよしの里において、日中一時支援事業として障がい者の受入を依頼している。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表		今後の事業の方向性	成果の方向性	
					番号	事務事業名			
100	⑦	特別養護老人ホームなどの高齢者施設の実施	「高齢者福祉計画兼介護保険事業計画」に基づき、必要な定員数の整備を進めます。特別養護老人ホームなどの施設内で障がい者サービスなどを利用できるような施設整備を進めるなど、住民ニーズを十分に把握した上で、それに対応できるような施設サービスへの整備整備について、県や民間事業者との連携により取り組めます。	長寿介護課	561003	事業計画推進事業	現状維持	→維持	・第6期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画において、定員が30人未満の小規模な特別養護老人ホーム1か所の施設整備を計画しています。原則として本市の住民のみが入所可能であることから、増加が見込まれる待機者や重度認定者などの受け皿として、有効なサービスであると考え、計画しています。
101	⑧	地域との連携によるグループホーム・ケアホームの設置	高齢者や障がいのある人が、住みながら地域において家庭的な環境の中で共同生活を営み、自立した生活ができるように、民間事業者などとの連携によるグループホーム・ケアホームの整備に努めます。	福祉課	550709	障がい者施設整備事業	現状維持	→維持	・「しおみの丘」及び「さくら」の整備費借入償還金について、法人に対して補助を行った。
102	⑨	地域との連携によるグループホーム・ケアホームの設置	高齢者や障がいのある人が、住みながら地域において家庭的な環境の中で共同生活を営み、自立した生活ができるように、民間事業者などとの連携によるグループホーム・ケアホームの整備に努めます。	長寿介護課	561003	事業計画推進事業	現状維持	→維持	・第5期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画において、1か所(1ユニット定員9人)を公募選定し、平成27年に開設しました。認知症高齢者の増加により、利用ニーズが高まっていること、認知症高齢者への支援体制として、地域での生活を支える介護サービスの構築が求められていることから、第6期高齢者福祉計画兼介護保険事業計画において、新たにグループホーム1か所(1ユニット定員9人)の整備を計画している。

基本方針4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～協働による福祉体制の整備～
 (1) 地域福祉を担う人材の育成

103	①	地域福祉における住民の役割の周知	すべての住民が地域の一員としての自覚を持ち、互いに思いやり、支え合うことのできる社会を形成するために、地域福祉を推進する上での住民の役割の周知を図ります。	福祉課	550301	総合福祉フェスタ開催事業	現状維持	→維持	障がいや正しく理解し、心のケアの一環として推進のため、総合福祉フェスタ、障がい者自立支援協議会等により周知を図った。
104	②	地域におけるボランティアの育成	地域の多様なボランティアの発掘と活用を目的としたボランティア登録を促進し、ボランティアの経験と能力を活用できるように、ボランティアセンターの機能を強化します。	社会福祉協議会		ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業)	現状維持	→維持	【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) ・ボランティア登録者数(172団体、2,774人) ・ボランティアコーディネーター件数(年346件) ・ボランティア講座(年3講座、28人)
105	③	人材育成に向けた研修機会の充実	福祉活動を行う人材を育成するため、社会福祉協議会、NPOなど、関係機関と連携して研修や勉強会の充実を図ります。	福祉課	550707	手話筆士員養成・通訳者設置事業	現状維持	→維持	日常生活上の初歩的なコミュニケーションができる程度の手話を学ぶ手話筆士員養成講座を開催した。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	専務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
106	④	子育て支援ボランティアの育成	子育て中の親を支援するため、ファミリーサポートセンター事業を推進し、子育ての経験があり、子育ての援助をしたいという人の活用を図ります。さらに、子育て支援を行うサークルの育成、支援、活用を図ります。	子育て支援課	680308	ファミリーサポート事業	現状維持	→ 維持	ファミリーサポートセンター事業として、子育てを助けて欲しい(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい(援助会員)がお互いに助け合いながら活動を実施した。平成27年度依頼会員数166人、援助会員数29人、両方会員数23人、援助活動の回数1,650回)
107	⑤	若いボランティアの育成推進	ボランティアの高齢化が進む中、若いボランティアを育成するため、小学校や中学校、高等学校でのボランティア体験活動を促進します。また、若い世代を対象としたボランティア育成のための講座の開催や学校支援のボランティアを募集し、各種イベント時などさまざまな機会を利用してボランティア活動のPRを行います。さらに、子どもなどのボランティア活動の様子は、ボランティア活動をお知らせするボランティア通信などに掲載し、PRを充実させます。	学校教育課	690110	みよし市教育支援センター事業	現状維持	→ 維持	・みよし市ホームページや広報紙を通しての学校支援ボランティア登録の呼びかけ ・小中学校の授業、学校行事における補助や個別支援を行う学生ボランティアの活用
108	⑤	若いボランティアの育成推進	ボランティアの高齢化が進む中、若いボランティアを育成するため、小学校や中学校、高等学校でのボランティア体験活動を促進します。また、若い世代を対象としたボランティア育成のための講座の開催や学校支援のボランティアを募集し、各種イベント時などさまざまな機会を利用してボランティア活動のPRを行います。さらに、子どもなどのボランティア活動の様子は、ボランティア通信などに掲載し、PRを充実させます。	社会福祉協議会		法人運営事業 (法人運営事業) 企画・広報事業 (機関紙発行事業) 地域福祉活動推進事業 (福祉教育推進事業) ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業)	現状維持 現状維持 現状維持 現状維持	→ 維持 → 維持 → 維持 → 維持	【法人運営事業】 ・福祉フェスタ開催事業(年1回)参加者4,300名 【機関紙発行事業】 ・ホームページへの機関紙公開(適時) ・社協だより発行(年6回) 【福祉教育推進事業】 ・活動の達成(8小学校、4中学校、1高等学校)合計570千円 ・福祉実践教室の開催(京字、盲導犬、手話、要約筆記、車イス、高齢者疑似体験、知的障がい者理解、認知症理解、特別支援学校との交流、三世交代流、認知症・障がい理解活動、赤い羽根共同募金、リサイクル活動など) 【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) ・夏休みキッズボランティア塾 ～作って学ぶエコキヤップ～ 7/30.31、参加者10名 ・夏休みキッズボランティア塾 ～青少年のボランティア体験～ 8/19.20.28、参加者9名 ・要約筆記ボランティア講座 11/2.9.16、参加者9名 【ボランティア連絡協議会】 ・ボランティア連協だより(年4回)会員・一般市民向け

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行なった事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業 の方向性	
109	⑤	地域リーダー育成 プログラム作成	地域リーダー育成プログラムを作成し、地域で率先して活動するリーダーをめぐらす住民に対して、勉強会や学習の場づくりをするなど、活動体制づくりを積極的に支援します。	社会福祉協議会		ボランティア活動事業 (ボランティアセンター活動事業) 法人運営事業 (法人運営事業)	現状維持 →維持	【社会福祉協議会】 ・管理栄養士による栄養講座(低栄養予防) みよし市立福祉センター 8/24,9/11、参加者22名 ・歯科衛生士による歯科講座(口腔ケア、口腔機能向上) みよし市立福祉センター 11/16,12/21、11名 【老人クラブ連合会】 ・特別講演会 テーマ①地域包括ケア時代における老人クラブ テーマ②ボランティア制度の理解とその対応について みよし市立福祉センター 2/10、参加者136名 【ボランティア連絡協議会】 ・特別講演会 テーマ①寸劇で楽しみながら学ぶ認知症 テーマ②西三河地区の認知症・高齢者に関するボラン ティア活動報告 みよし市立福祉センター 1/23、参加者135名
						老人クラブ連合会 ボランティア連絡協議会	現状維持 →維持	

基本方針4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～協働による福祉体制の整備～
(2)地域における福祉ネットワークの形成

110	①	高齢者を利用した ネットワークづくり	地域で暮らす高齢者が、豊かな経験や知識を地域社会の中で活用できるように、愛知県の「まちの達人活動推進事業」やボランティア登録の推進を図り、高齢者の地域福祉活動への積極的な参加を促進します。	長寿介護課	570301	シルバー人材センター補助事業	現状維持 →維持	公益社団法人みよし市シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など、高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付し、豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や活力ある地域づくりに貢献できるように支援した。(年間 会員数 358人、事業件数 2,064件、就業証人員 45,427人)
111	②	地域における子育て ネットワークの充実	子育てに関する情報交換を行うことができるよう交流会などを開催します。また、サークルやボランティア間の連携強化を図ること、地域において助け合いながら子育てができるネットワークの充実を進めます。	子育て支援課	680313	子育て支援センター運営管理事業	現状維持 →維持	市内5地区(わかば保育園内、萌生保育園内、打越保育園内、みどり保育園内、黒世保育園内)にみよし市地域子育てセンターを設置し、その他市内保育園において、母親の不安解消育児相談等を目的として、親子教室等の各種事業を実施した。 ・各種事業内容: わくわくルーム、びよちやんルーム(10保育園毎月1回)、赤ちやんルーム(6保育園月1回)、青児講座(人形劇、親子ピクニック等、情報誌の発行(年6回))。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】	
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性		成果の方向性
112	③	行政とポランティアの連携によるネットワークの充実	ポランティア活動を活発化させるため、ポランティア連絡協議会を活用し、行政とポランティア団体などの連携による取り組みを進めます。また、団体相互の連絡調整・情報交換のためのポランティア連絡協議会を定期的に行い、ネットワークを充実させます。	福祉課	550101	社会福祉団体活動支援事業	現状維持	→ 維持	ポランティア連絡協議会に対して補助金を交付し、登録ポランティア団体の活動活性化及び連絡協議会による各団体の連携を図った。 ポランティア連絡協議会では、役員会や各団体の代表者会などの会議を定期的に開催し、情報の共有を図るとともに地域福祉の推進に寄与した。
113	③	行政とポランティアの連携によるネットワークの充実	ポランティア活動を活発化させるため、ポランティア連絡協議会を活用し、行政とポランティア団体などの連携による取り組みを進めます。また、団体相互の連絡調整・情報交換のためのポランティア連絡協議会を定期的に行い、ネットワークを充実させます。	社会福祉協議会		ポランティア連絡協議会	現状維持	→ 維持	【ポランティア連絡協議会】 ・役員会(年6回) ・代表者会議(年6回) ・役員研修会(さくらの丘、石川家住宅) ・特別講演会 テーマ:①寸劇で楽しみながら学ぶ認知症 テーマ:②西三河地区の認知症・高齢者に関するポランティア活動報告 みよし市立福祉センター 1/23、参加者135名 ポランティア連絡だより(年4回)会員・一般市民向け 西三河ポランティア連絡会(年3回)
114	④	障がい者とその家族を支えるネットワーク体制の整備	障がいのある人とその家族が安心して地域で暮らせるように、障がい福祉事業所や障がい者団体、ポランティア団体などと連携してネットワークを形成し、各種サービスやポランティアによる支援が受けやすくなるための仕組みをつくります。	福祉課	550705	障がい者自立支援事業	現状維持	→ 維持	みよし市障がい者自立支援協議会を設置し、障がい者とその家族を支えるネットワーク体制を整備している。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表		今後の事業の方向性	成果の方向性	平成27年度に行なった事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名			
115	④	障がい者とその家族を 支えるネットワーク体制の整備	障がいのある人とその家族が安心して地域で暮らせるように、障がい福祉事業所や障がい者団体、ボランティア団体などと連携してネットワークを形成し、各種サービスやボランティアによる支援が受けやすくなるための仕組みをつくります。	社会福祉協議会		ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業)	現状維持	→維持	【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) ・夏休みキッズボランティア塾 ～作って学ぶエコキヤッチャ～ 7/30,31、参加者10名 ・夏休みキッズボランティア塾 ～青少年のボランティア体験～ 8/19,20,28、参加者9名 ・要約筆記ボランティア講座 11/29,16、参加者9名 【障がい者・見福祉活動事業】 ・ふれあいバードの開催(年1回) 当事者団体を含む実行委員会組織で事業実施 交流会：6/28、参加者：180名、作品展示101点 作品展示：7/1-31：みよし市立福祉センター(ひだまり 及びイオン三好店)
116	⑤	行政区を中心とした 地域組織ネットワークの強化	行政区、老人クラブ、子ども会など地域組織が連携し、助け合い機能が強化されるような、ネットワーク会議などの場の提供や情報提供を行い、地域で活動しやすしい体制づくりを支援します。	協働推進課	710103 行政区活動事業	710106 地区コミュニティ活動推進事業	現状維持	→維持	・地域組織ネットワークの強化については、行政区が主体となって行っていたことが理想と考えております。 ・行政区の運営及び地域の活性化を推進することを目的とする一括交付金の交付や、行政区の運営及び環境整備を推進することを目的とした行政区活動事業への補助金の交付を行いました。 ・各地区コミュニティ活動推進協議会で行行政区の垣根を越えて、防犯や防災活動を行っていたいただきました。 ・地区コミュニティ活動を通じて地域間及び世代間の交流を深め、地域住民の連帯意識の醸成を図り、心豊かな地域社会を築くため、各地区で取り組まれる地区コミュニティ活動を支援しました。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性	
基本方針4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～協働による福祉体制の整備～ (3)関係団体などとの連携の強化								
117	①	社会福祉協議会・関係団体などに 関する情報の提供	社会福祉協議会や保健所などの福祉団体や公 的機関に関する情報を住民に周知するため、広 報紙やパンフレットを充実し、福祉フェスタのよ うな地域でのイベントにおいて情報コーナーを設 置することにより、各団体に関する情報提供の充 実を図ります。	福祉課	550301 総合福祉フェスタ開催事業	現状維持	→維持	・広報みよしにおいて、各種福祉制度の手続き等についてのお知らせを掲載し た。 ・総合福祉フェスタを開催し、市の福祉施策や各種福祉団体の情報のPRに努 めた。
118	②	社会福祉協議会の 活動支援	地域福祉推進の中核としての役割や、ボランティア 団体をはじめとする民間福祉活動コーディネー ターとしての役割を担う社会福祉協議会に対し て、組織体制の充実、強化に向けた支援を積極 的に行います。	福祉課	550101 社会福祉団体活動支援事業	現状維持	→維持	・みよし市社会福祉協議会に対して、運営費補助金を交付した。 ・みよし市ボランティア連絡協議会に対して運営費及び活動費の補助金を交 付した。
119	③	相互理解に基づき 各主体の役割分担 の明確化	住民、ボランティア団体、事業者、社会福祉法 人、行政など、各主体の相互理解に役付き、地 域福祉を推進する上でそれぞれの役割分担を 明確化し、互いの連携の中で、各主体が中心と なって、地域福祉の取り組みを推進します。	福祉課	550101 社会福祉団体活動支援事業	現状維持	→維持	・みよし市社会福祉協議会に対して、運営費補助金を交付した。 ・みよし市ボランティア連絡協議会に対して運営費及び活動費の補助金を交 付した。
120	④	関係団体などの パートナーシップ 体制の整備	地域において活動しているさまざまな主体が対等 な立場で相互に連携し、コミュニケーションを深 めていくために、障がい者団体やボランティア団 体などと行政が参画した地域福祉推進に関する 組織を設置し、パートナーシップ体制を整備しま す。	福祉課	550101 社会福祉団体活動支援事業	現状維持	→維持	社会福祉協議会と連携し、ボランティア団体と高齢者・障がい者団体がお互 いに交流できる組織作りを検討していきます。
121	⑤	障がい者団体など への支援の充実	障がい者団体、ボランティア団体などが行う活動 に対する支援の充実を図ります。また団体の活 動基盤の拡大に向けて、団体などのPRに努めま す。	福祉課	550101 社会福祉団体活動支援事業	現状維持	→維持	社会福祉団体等の運営や事業実施に必要な補助金を交付した。
122	⑥	皆さまと語る会などの 開催	住民と市長が直接語り合う機会を設け、住民の 意見や提言をお聞きし、市政に活用するととも に、住民との協働による、まちづくりの推進を図り ます。	広報情報課				市民の皆さまから今後の市政について幅広い意見を聴くため、地区コミュ ニティや各種団体を対象に「皆さまと語る会」(9回)を開催した。

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表		今後の事業 の方向性	成果の 方向性	平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名			
123	⑦	地域福祉に関する計 画の推進・チェック体 制の確立	住民、ボランティア団体、行政など、計画に関わ るさまざまな主体の連携により、地域福祉に関す る計画の推進やチェック体制を確立し、計画の理 念の実現をめざします。また、一部の代表者だけ でなく、組織に属さない住民にも参加を求め、地 域課題を共有し、協働により地域の実情や特 徴に合わせた計画の推進を図ります。	福祉課	741305	地域福祉計画策定事業	現状維持	→維持	平成26年度に第3期計画策定のための市民アンケート調査を行った。 H27.10.28(水)、H28.1.6(水)、H28.3.2(水)の計3回の審議会を開催し、第 3期計画策定を行った。 第3期計画策定に向け、(案)のパンフレットをH28.1.15からH28.2.19ま で行った。

基本方針4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～協働による福祉体制の整備～
 (4)ボランティア・NPOの活動促進

124	①	NPO・市民活動団体 の活動に関する情報の 提供	NPOに関する情報を広く住民に知らせるため、広 報紙やホームページなどの充実を図ります。ま た、NPOに関する情報が一目でわかるような情報 コーナーの設置。	協働推進課	710201	協働によるまちづくり推進事業	統合	↑向上	・市民活動サポーターセンターの運営により、市民活動に関する情報収集と 情報発信を行いました。また、市民活動団体のスキルUPを目的とした「市 民活動サポーターセンター講座」及び市民活動サポーターセンター登録団体 間の交流を目的とした「市民活動サポーターセンター交流会」を開催しまし た。 ・市民活動サポーターセンターに情報ラックや掲示板を設置して、NPO法人 や市民活動団体に関する情報を広く一般に提供しました。
125	①	ボランティア・NPO 活動に関する情報の 提供	ボランティアやNPOに関する情報を広く住民に知 らせるため、広報紙やホームページなどの充実を 図ります。また、ボランティアやNPOに関する情報 が一目でわかるような情報コーナーの設置を換 新し、ボランティアをしたい人やボランティアによ る支援を受けたい人が必要な情報を手でできる 体制を整えます。	社会福祉協議会		企画・広報事業 (機関紙発行事業) ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業) 老人福祉センター事業 (老人福祉センター事業)	現状維持 現状維持 現状維持	→維持 →維持 →維持	【機関紙発行事業】 ・社協だより発行(年6回) ・ホームページへの機関紙公開(適時) 【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) 【老人福祉センター事業】 ・ボランティアセンター登録者・団体へボランティア室の開放 (福祉センター開館日・開館時間) ・ボランティア関係情報誌等の設置場所を統一しわかりやすくした

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	今後の事業の方向性	
126	②	ボランティア団体の相互連携及び交流の場の提供	活動団体相互の連携を図るため、ボランティア連絡協議会によるネットワークの形成を促進します。また、ボランティア団体同士が自由に集い、交流できる場を提供します。	社会福祉協議会	老人福祉センター事業 (老人福祉センター事業)	現状維持	→ 維持	【老人福祉センター事業】 ・ボランティアセンター登録者・団体へボランティア室の開放(福祉センター開館日・開館時間) 【ボランティア連絡協議会】 ・役員会(年6回) ・代表者会議(年6回) ・役員研修会(さくらの丘、石川家住宅) ・特別講演会 テーマ:①寸劇で楽しみながら学ぶ認知症 テーマ:②西三河地区の認知症・高齢者に関するボランティア活動報告 みよし市立福祉センター 1/23、参加者135名 ・ボランティア連協だより(年4回)会員・一般市民向け ・西三河ボランティア連協会(年3回)
127	③	ボランティア利用希望者の把握及び活動団体への紹介	各種窓口手続きなどさまざまな機会や場面で活用してボランティアを必要とする人の把握に努め、本人に情報を提供していきます。	福祉課	550101 社会福祉団体活動支援事業	現状維持	→ 維持	社会福祉協議会と連携をとり、ボランティア利用希望の相談があった場合には、福祉センター内にあるボランティアセンターや活動団体への紹介を行っている。
128	④	NPO・市民活動団体の育成推進	NPO団体・市民活動団体の活動内容の充実に向けて、NPO団体の運営に関する情報提供を行うなどの支援を推進します。	協働推進課	710201 協働によるまちづくり推進事業	統合	↑ 向上	・専門の相談員を配置し、市民活動団体の活性化や団体設立に関する相談に対応することにより、市民の自主的な公益活動を支援し、団体活動の活性化を図ることができました。 ・市民活動団体のスキルアップを目的とした「サポートセンター講座」及びセンター登録団体間の交流を目的とした「交流会」を開催しました。みよよし市の市民活動についてさまざまな主体が意見交換を行うことにより団体間のつながりをつくることができました。

整理番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表			今後の事業の方向性	成果の方向性	平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名	現状維持			
129	④	ボランティア・NPO団体の育成推進	ボランティア団体やNPO団体の活動内容の充実に向けて、ボランティア養成講座の開催やNPO団体の運営に関する情報提供を行うなどの支援を推進します。	社会福祉協議会	ボランティア連絡協議会 (ボランティアセンター活動事業)	現状維持	→維持	【ボランティアセンター活動事業】 なし 【ボランティア連絡協議会】 ・役員会(年6回) ・代表者会議(年6回) ・役員研修会(ささの丘、石川家住宅) ・特別講演会 ・テーマ:①寸劇で楽しみながら学ぶ認知症 テーマ:②西三河地区の認知症・高齢者に関するボランティア活動報告 みよし市立福祉センター 1/23、参加者135名 ・ボランティア連協だより(年4回)会員 一般市民向け ・西三河ボランティア連絡会(年3回)		
130	⑤	ボランティア活動に関する講習会・研修会の実施	学校教育や社会教育を通して、市内の各施設など連携を図りながら、ボランティア活動に関する講習会・研修会など学習機会を提供します。また、継続して学習するためのボランティア体験プログラムの作成や長期休暇期間のボランティア集中講座の開催を検討し、住民がさまざまな場面でボランティアとして力を発揮できるための環境を整備します。	社会福祉協議会	地域福祉活動推進事業 (福祉教育推進事業) ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業)	現状維持	→維持	【福祉教育推進事業】 ・活動員の助成(8小学校、4中学校、1高等学校)合計570千円 ・福祉実践教室の開催(点字、盲導犬、手話、要約筆記、車イス、高齢者疑似体験、知的障がい者理解、認知症理解、特別支援学校との交流、三世代交流、認知症・障がい理解活動、赤い羽根共同募金、リサイクル活動など) 【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) ・夏休みキッズボランティア塾 ～作って学ぶエコキャップ～ 7/30.31、参加者10名 ・夏休みキッズボランティア塾 ～青少年のボランティア体験～ 8/19.20.28、参加者9名 ・要約筆記ボランティア講座 11/2.9.16、参加者9名		
131	⑥	ボランティア活動に関する相談体制の整備	住民がボランティア活動に気軽に参加し、援助を必要とする人がボランティアのサポートや支援を受けることのできる体制づくりを進めるための、ボランティア活動全般に対する相談を行うボランティア活動相談教室の設置を検討します。	社会福祉協議会	地域福祉活動推進事業 (心配ごと相談事業) ボランティアセンター活動事業 (ボランティアセンター活動事業)	現状維持	→維持	【心配ごと相談事業】 ・相談日(毎月2回)件数(年2件) 【総合福祉相談事業】 ・相談日(福祉センター開館日) 取扱件数(年56件) 【ボランティアセンター活動事業】 ・ボランティア通信発行(年4回) ・ボランティア登録者数(72団体、2,774人) ・ボランティアコーナー件数(年346件) ・ボランティア講座(年3講座、28人)		

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	専務事業目的評価表			平成27年度に行った事業 【具体的に記載】
					番号	専務事業名	今後の事業 の方向性	
132	①	地域における 活動拠点の整備充実	生活圏ごとの活動拠点を確保するため、地区公民館、老人憩いの家、児童館などの拠点施設について、ニーズや必要に応じた整備に努めます。	子育て支援課	700104	児童館等活動運営事業	現状維持 →維持	各地域の児童館(3館)及び集会所(12館)を拠点として児童の健全育成事業の一層の推進を図った。 【児童館等年間開館総日数】 ・児童館3,377日 ・集会所 3,021日 計6,398日 【児童館等年間利用者数】 ・児童館 84,592人 ・集会所 45,166人 計129,758人
133	①	地域における 活動拠点の整備充実	生活圏ごとの活動拠点を確保するため、地区公民館、老人憩いの家、児童館などの拠点施設について、ニーズや必要に応じた整備に努めます。	長寿介護課	550603	老人憩いの家運営管理事業	現状維持 →維持	老人憩いの家全館(12館)の運営管理を指定管理者である各地区老人クラブが行った。 (年間利用者数 56,344人) ・西一色老人憩いの家耐震改修工事、中部老人憩いの家空調取替工事、三好下老人憩いの家窓ガラス飛散防止及び屋根補修工事を実施した。
134	①	地域における 活動拠点の整備充実	生活圏ごとの活動拠点を確保するため、地区公民館、老人憩いの家、児童館などの拠点施設について、ニーズや必要に応じた整備に努めます。	協働推進課				地区拠点施設の整備について、みよし市地区拠点施設整備協議会を設置し、3回の会議を開催し、地区拠点施設整備基本構想について検討し、市長に答申しました。
135	②	公共の未利用施設 などの有効活用	市内の公共施設を利用していないときに開放し、地域の人々の交流や地域活動の拠点として有効活用できるような仕組みを検討し、活動場所の確保に努めます。	長寿介護課				H27は該当事業なし
136	②	公共の未利用施設 などの有効活用	市内の公共施設を利用していないときに開放し、地域の人々の交流や地域活動の拠点として有効活用できるような仕組みを検討し、活動場所の確保に努めます。	協働推進課	710101	三好丘交流センター管理運営事業	現状維持 →維持	老朽化による屋外灯、トイレ(小便器)、小会議室のドアなどの修繕を行い、三好丘交流センターの適正な管理運営に努めました。

基本方針4. 地域福祉の推進に向けた仕組みづくり ～協働による福祉体制の整備～
(5)地域における活動場所の提供

整理 番号	No.	事業名	事業内容	担当課	事務事業目的評価表		今後の事業 方向性	成果の 方向性	平成27年度に行つた事業 【具体的に記載】
					番号	事務事業名			
137	③	民間施設の連携による活動の場の確保	民間事業者の協力を得て、公共施設だけでなく、民間施設を地域活動の場として開放し、住民が気軽に利用できるような仕組みをつちやみます。	福祉課					平成24年9月に開所した「さくらの丘」において、施設の一部を地域住民の活動の場として位置づけたいたいい。
138	④	地区コミュニティ広場の活用促進	コミュニティ広場を地域交流の場として、幅広い年齢層の人に利用してもらえようように、広報紙やホームページによるPRを行い、利用率の向上に努めます。	協働推進課	710105	コミュニティ広場管理運営事業	改善	→維持	・みよし市ホームページ(協働推進課)に所在地と地図を掲載し、場所の確認がしやすいたようにしています。(地図は平成17年度から実施) ・コミュニティ広場は、市内5箇所に設置されており、各地区コミュニティ推進協議会主催の「ソシホール、クラブ・ゴルフ、ウオーキング、夏祭り等の実施と各地域内の行政区や任意団体等の行事で利用され、地域住民の運営意識の向上を図ることができました。 ・利用者が安全・快適に利用できるよう、草刈り、樹木管理、各種修繕等を実施することで、施設の安全性や利便性を向上することができました。
139	⑤	福祉活動拠点としての福祉センターの機能保全	利用者の意見や要望に柔軟に対応することで、サービスの向上を図ります。また、施設を計画的に修繕することにより、各種福祉団体の活動拠点としての福祉センターの機能保全を図ります。	長寿介護課	550601	福祉センター運営管理事業	現状維持	→維持	施設の柔軟な運営管理を行うため、福祉センターの運営管理を指定管理者である社会福祉法人みよし市社会福祉協議会が行つた。(年間利用者数 13,369人)

〇みよし市地域福祉計画審議会要綱

平成21年4月1日

改正 平成27年12月25日

(趣旨)

第1条 この要綱は、みよし市附属機関の設置に関する条例（平成21年三好町条例第2号。以下「条例」という。）第3条の規定に基づき、みよし市地域福祉計画審議会（以下「審議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 審議会は、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づき、地域福祉の推進に関する事項を一体的に定めるみよし市地域福祉計画の策定及び推進について調査、審議するものとする。

(組織)

第3条 委員は、条例別表に規定する者のうちから市長が委嘱する。

2 委員の任期は3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は委員の互選とする。
- 3 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその会議の議長となる。

- 2 審議会の会議は委員の2分の1で成立し、議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 3 会長が必要と認めたときは、委員以外の関係者に会議の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 審議会の事務局は、福祉部福祉課に置く。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成27年12月25日）

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

